

(様式第10)

番 号  
平成27年10月 2日

東海北陸厚生局長 殿

三重大学医学部附属病院長  
開設者名 伊藤 正明 印

国立大学法人三重大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成26年度の業務  
に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒514-8507 三重県津市江戸橋2丁目174
氏 名	病院長 伊藤 正明

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

国立大学法人三重大学医学部附属病院
-------------------

3 所在の場所

〒 514 - 8507	電話( 059 ) 232 - 1111
三重県津市江戸橋2丁目174	

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="radio"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1 消化器・肝臓内科 2 呼吸器内科 3 腎臓内科 4 血液内科 5 腫瘍内科 6 糖尿病・内分泌内科	
7 神経内科 8 循環器内科 9 緩和ケア内科 10 11 12 13	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科名等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	有	無
外科と組み合わせた診療科名等 1 消化器外科 2 移植外科 3 呼吸器外科 4 乳腺外科 5 心臓血管外科 6 小児外科 7 形成外科 8 9 10 11 12 13 14		
診療実績		

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他標榜していることが求められる診療科名

1 精神科 2 小児科 3 整形外科 4 脳神経外科 5 皮膚科 6 泌尿器科 7 産婦人科 8 産科 9 婦人科 10 眼科 11 耳鼻咽喉科 12 放射線科 13 放射線診断科 14 放射線治療科 15 麻酔科 16 救急科
--

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有	無
歯科と組み合わせた診療科名等 1 歯科口腔外科 2 3 4 5 6 7		
歯科の診療体制  歯科医師を有する		

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 病理診断科 2 腎臓泌尿器科 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21
--

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
30床	床	床	床	655床	685床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成27年 8月 1日現在)

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	436 人	30 人	440.6 人	看護補助者	83 人	診療エックス線技師	0 人
歯科医師	19 人	0 人	19.0 人	理学療法士	6 人	臨床検査技師	60 人
薬 剤 師	50 人	0 人	50.0 人	作業療法士	2 人	衛生検査技師	1 人
保 健 師	1 人	1 人	1.6 人	視能訓練士	7 人	臨 床 検 査 師	0 人
助 産 師	34 人	2 人	34.9 人	義肢装具士	0 人	あん摩マッサージ指圧師	0 人
看 護 師	473 人	121 人	544.6 人	臨床工学技士	23 人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	5 人
准看護師	0 人	6 人	4.0 人	栄 養 士	0 人	その他の技術員	29 人
歯科衛生士	4 人	0 人	4.0 人	歯科技工士	2 人	事 務 職 員	224 人
管理栄養士	6 人	6 人	10.4 人	診療放射線技師	38 人	その他の職員	48 人

(注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。

(注) 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

(注) 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年 8月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	39 人	眼 科 専 門 医	7 人
外 科 専 門 医	57 人	耳鼻咽喉科専門医	7 人
精 神 科 専 門 医	7 人	放 射 線 科 専 門 医	15 人
小 児 科 専 門 医	14 人	脳神経外科専門医	14 人
皮 膚 科 専 門 医	9 人	整 形 外 科 専 門 医	14 人
泌 尿 器 科 専 門 医	12 人	麻 酔 科 専 門 医	5 人
産 婦 人 科 専 門 医	11 人	救 急 科 専 門 医	15 人
		合 計	226 人

(注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	536 人	12 人	548 人
1日当たり平均外来患者数	1,137 人	85 人	1,222 人
1日当たり平均調剤数			637 剤
必 要 医 師 数			124 人
必 要 歯 科 医 師 数			6 人
必 要 薬 剤 師 数			19 人
必 要 ( 准 ) 看 護 師 数			316 人

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

(注) 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

(注) 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

(注) 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(注) 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

### 9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要	
集中治療室	589 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数	12床
			人工呼吸装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] [移動式の場合]	床面積 台数	374 m <sup>2</sup> 台	病床数 34床
医薬品 情報管理室	[専用室の場合] [共用室の場合]	床面積 共用する室名	53 m <sup>2</sup>	
化学検査室	423 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	遠心機、自動分析装置
細菌検査室	147 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	顕微鏡、遠心機、安全キャビネット
病理検査室	236 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	顕微鏡、染色装置
病理解剖室	32 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	電動昇降式解剖台
研究室	758 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	遺伝子解析装置、液体クロマトグラフ、自動洗浄機
講義室	1,382 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	16室
図書室	759 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	2室
				収容定員 1,070人 蔵書数 55,180冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

(注) 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

### 10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日	
紹介率	79.5 %	逆紹介率	51.5 %
算出根拠	A：紹介患者の数		12,762人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		8,660人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		605人
	D：初診の患者の数		16,809人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	6 人
CYP2C19 遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	89 人
IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の予測評価	15 人
実物大臓器立体モデルによる手術支援	0 人
末梢血単核球移植による血管再生治療	1 人
急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	0 人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与（一週間に一回投与するものに限る。）及びカルボプラチン腹腔内投与（三週間に一回投与するものに限る。）の併用療法 上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	0 人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん（エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。）	0 人
コレステロール塞栓症に対する血液浄化療法 コレステロール塞栓症	0 人
インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法	0 人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

医療技術名	腎がんに対するラジオ波焼灼療法	取扱患者数	18 人
当該医療技術の概要			
ラジオ波通電用手電極針をCT画像ガイド下にて経皮的に腫瘍内に穿刺、留置し、ラジオ波を流すことで組織内の温度を上げ、腫瘍を壊死させる治療法である。			
医療技術名	副腎腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	取扱患者数	3 人
当該医療技術の概要			
ラジオ波通電用手電極針をCT画像ガイド下にて経皮的に腫瘍内に穿刺、留置し、ラジオ波を流すことで組織内の温度を上げ、腫瘍を壊死させる治療法である。			
医療技術名	肺がんに対するラジオ波焼灼療法	取扱患者数	85 人
当該医療技術の概要			
ラジオ波通電用手電極針をCT画像ガイド下にて経皮的に腫瘍内に穿刺、留置し、ラジオ波を流すことで組織内の温度を上げ、腫瘍を壊死させる治療法である。			
医療技術名	骨腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	取扱患者数	0 人
当該医療技術の概要			
ラジオ波通電用手電極針をCT画像ガイド下にて経皮的に腫瘍内に穿刺、留置し、ラジオ波を流すことで組織内の温度を上げ、腫瘍を壊死させる治療法である。			
医療技術名	骨悪性腫瘍に対する凍結療法	取扱患者数	38 人
当該医療技術の概要			
ラジオ波通電用手電極をCT画像ガイド下にて経皮的に腫瘍に穿刺し、腫瘍に対してラジオ波発生装置による凝固療法			
医療技術名	骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	取扱患者数	1 人
当該医療技術の概要			
有痛性骨病変に対して、経皮的骨形成術を行う。11Gの骨生検針を骨内に挿入し、骨セメントを注入する。本院での入院期間は約6日間と短期間である。			
医療技術名	舌下免疫療法	取扱患者数	0 人
当該医療技術の概要			
スギ花粉症の原因であるスギ花粉のエキスを食パンのかけらにたらし、舌の下に2～3分程度含むことにより、エキスを継続的に体内に入れて体を慣らし、アレルギー反応を減らす			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

- (注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。
- (注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	60 人	・膿疱性乾癬	11 人
・多発性硬化症	58 人	・広範脊柱管狭窄症	1 人
・重症筋無力症	52 人	・原発性胆汁性肝硬変	59 人
・全身性エリテマトーデス	159 人	・重症急性膵炎	6 人
・スモン	2 人	・特発性大腿骨頭壊死症	28 人
・再生不良性貧血	43 人	・混合性結合組織病	24 人
・サルコイドーシス	71 人	・原発性免疫不全症候群	3 人
・筋萎縮性側索硬化症	22 人	・特発性間質性肺炎	5 人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	213 人	・網膜色素変性症	35 人
・特発性血小板減少性紫斑病	71 人	・プリオン病	0 人
・結節性動脈周囲炎	19 人	・肺動脈性肺高血圧症	31 人
・潰瘍性大腸炎	319 人	・神経線維腫症	19 人
・大動脈炎症候群	19 人	・亜急性硬化性全脳炎	0 人
・ビュルガー病	12 人	・バッド・キアリ (Budd-Chiari) 症候群	1 人
・天疱瘡	33 人	・慢性血栓性肺高血圧症	18 人
・脊髄小脳変性症	43 人	・ライソゾーム病	0 人
・クローン病	174 人	・副腎白質ジストロフィー	0 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1 人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0 人
・悪性関節リウマチ	7 人	・脊髄性筋萎縮症	0 人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	127 人	・球脊髄性筋萎縮症	1 人
・アミロイドーシス	19 人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	14 人
・後縦靭帯骨化症	53 人	・肥大型心筋症	8 人
・ハンチントン病	2 人	・拘束型心筋症	0 人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	43 人	・ミトコンドリア病	1 人
・ウェゲナー肉芽腫症	4 人	・リンパ管筋腫症(LAM)	1 人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	54 人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1 人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガ症候群)	11 人	・黄色靭帯骨化症	4 人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2 人	間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常 症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異 常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能 低下症)	63 人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ 地域歯科診療支援病院歯科初診料	・ 救急搬送患者地域連携紹介加算
・ 歯科外来診療環境体制加算	・ 呼吸ケアチーム加算
・ 歯科診療特別対応連携加算	・ 病棟薬剤業務実施加算
・ 特定機能病院入院基本料	・ データ提出加算 2
・ 臨床研修病院入院診療加算	・ 救命救急入院料 4
・ 救急医療管理加算	・ 新生児特定集中治療室管理料 1
・ 超急性期脳卒中加算	・ 総合周産期特定集中治療室管理料
・ 妊産婦緊急搬送入院加算	・ 小児入院医療管理料 4
・ 診療録管理体制加算 1	・ 特定集中治療室管理料 1
・ 急性期看護補助体制加算	・
・ 看護補助加算	・
・ 療養環境加算	・
・ 重症者等療養環境特別加算	・
・ 無菌治療室管理加算 1, 2	・
・ 緩和ケア診療加算	・
・ 摂食障害入院医療管理加算	・
・ がん診療連携拠点病院加算	・
・ 栄養サポートチーム加算	・
・ 医療安全対策加算 1	・
・ 感染防止対策加算 1	・
・ 患者サポート体制充実加算	・
・ 褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ ハイリスク妊娠管理加算	・
・ ハイリスク分娩管理加算	・
・ 退院調整加算	・
・ 新生児特定集中治療室退院調整加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ 高度難聴指導管理料	・ 植込型心電図検査
・ 糖尿病合併症管理料	・ 胎児心エコー法
・ がん性疼痛緩和指導管理料	・ ヘッドアップティルト試験
・ がん患者指導管理料 1～3	・ 人工膝臓
・ 外来緩和ケア管理料	・ 皮下連続式グルコース測定
・ 移植後患者指導管理料	・ 長期継続頭蓋内脳波検査
・ 糖尿病透析予防指導管理料	・ 補聴器適合検査
・ 外来リハビリテーション診療料	・ ロービジョン検査判断料
・ 外来放射線照射診療料	・ コンタクトレンズ検査料 1
・ 開放型病院共同指導料	・ 内服・点滴誘発試験
・ 地域連携診療計画管理料	・ センチネルリンパ節生検
・ ハイリスク妊産婦共同管理料 (I)	・ CT透視下気管支鏡検査加算
・ がん治療連携計画策定料	・ 画像診断管理加算 1, 2
・ がん治療連携管理料	・ ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影
・ 認知症専門診断管理料	・ CT撮影及びMRI撮影
・ 肝炎インターフェロン治療計画料	・ 冠動脈CT撮影加算
・ 薬剤管理指導料	・ 外傷全身CT加算
・ 医療機器安全管理料 1・2	・ 大腸CT撮影加算
・ 歯科治療総合医療管理料	・ 心臓MRI撮影加算
・ 持続血糖測定器加算	・ 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・ 造血器腫瘍遺伝子検査	・ 外来化学療法加算 1
・ HPV核酸検出	・ 無菌製剤処理料
・ HPV核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)	・ 歯科口腔リハビリテーション 2
・ 検体検査管理加算 (I) (IV)	・ 心大血管疾患リハビリテーション料 (I)
・ 遺伝カウンセリング加算	・ 脳血管疾患等リハビリテーション料 (II)
・ 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・ 運動器リハビリテーション料 (I)
・ 植込型心電図検査	・ 呼吸器リハビリテーション料 (I)

・がん患者リハビリテーション料	・両室ペーシング機能付埋込型除細動器移植術
・認知療法・認知行動療法	及び両室ペーシング機能付埋込型除細動器交換術
・精神科ショートケア及びデイケア（小規模なもの）	・大動脈バルーンパンピング法
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料	・補助人工心臓
・医療保護入院等診療料	・経皮的動脈遮断術
・エタノールの局所注入（甲状腺副甲状腺）	・ダメージコントロール手術
・透析液水質確保加算	・腹腔鏡下肝切除術
・一酸化窒素吸入療法	・生体部分肝移植術
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・同種死体肝移植術
・歯科技工加算	・腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術
・皮膚悪性腫瘍切除術（悪性黒色腫センチネルリンパ節加算）	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・腫瘍脊椎全摘出術	・腹腔鏡下小切開副腎摘出術
・脳刺激装置植込術、頭蓋内電極植込術及び脳刺激装置交換術	・腹腔鏡下小切開腎部分切除術
・羊膜移植術	・腹腔鏡下小切開腎摘出術
・網膜移植術	・腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術
・緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））	・腎腫瘍凝固焼灼術（冷凍凝固によるもの）
・人工内耳埋込術	・同種死体腎移植術
・植込骨導補聴器の植え込み及び接合子付骨導端子又は骨導端子の交換	・生体腎移植術
・内視鏡下鼻副鼻腔手術Ⅴ（拡大副鼻腔手術）	・膀胱水圧拡張術
・上顎下顎骨形成術（歯科診療に係るものに限る）	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・乳がんセンチネルリンパ節加算 1、2	・人工尿道括約筋植込置換術
・人工乳房及び組織拡張器	・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・経皮的冠動脈形成術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍術（子宮体がんに限る）
・経皮的冠動脈ステント留置術	・胎児胸腔羊水腔シャント術
・経皮的中隔心筋焼灼術	・医科点数表第2章第10部手術の通則 5 及び 6
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	（歯科点数表第2章第9部の通則 4 を含む）
・埋込型心電図記録計移植術	・輸血管管理料（Ⅱ）
・埋込型心電図記録計摘出術	・貯血式自己血輸血管管理体加算
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	・自己生体組織接着剤作成術
・埋込型除細動器移植術及び埋込型除細動器交換術	・人工肛門人工膀胱増設術前処置加算

・ 歯周組織再生誘導手術	
・ 手術時歯根面レーザー応用加算	
・ 広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
・ 麻酔管理料 I、II（硬膜外麻酔、脊椎麻酔）	
・ 麻酔管理料 I、II（閉鎖循環式全身麻酔）	
・ 放射線治療専任加算	
・ 外来放射線治療加算	
・ 高エネルギー放射線治療	
・ 強度変調放射線治療（IMRT）	
・ 1回線量増加加算	
・ 画像誘導放射線治療加算（IGRT）	
・ 体外照射呼吸性移動対策加算	
・ 直線加速器による定位放射線治療	
・ 定位放射線治療呼吸移動対策加算	
・ テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製	
・ テレパソロジーによる術中迅速細胞診	
・ 病理診断管理加算 2	
・ クラウンブリッジ維持管理料	
・ 歯科矯正診断料	
・ 顎口腔機能診断料	
・ 口腔病理診断管理加算（歯科診療にかかるものにかぎる）	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・ HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	・
・ 先天性難聴の遺伝子診断	・
・ 内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	・
・ 腹腔鏡下子宮体がん根治手術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

- (注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。  
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1回 / 2ヶ月
剖 検 の 状 況	剖検症例数 17例 / 剖検率 6.2%

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
人工妊娠中絶の地域格差に関する研究	池田智明	医学系研究科	¥4,000,000	補委 厚生労働省
周産期医療と他領域との効果的な協働体制に関する研究	池田智明	医学系研究科	¥7,000,000	補委 厚生労働省
WHOのチェックリストを用いた日本版「手術安全簡易評価システム」の開発と適応に関する研究	兼児敏浩	附属病院	¥2,800,000	補委 厚生労働省
妊娠中の化学物質による、子どもの行動・情動への影響評価に関する臨床的・基礎的・疫学的研究	成田正明	医学系研究科	¥21,600,000	補委 厚生労働省
全国を対象とした抗菌薬使用動向調査システムの構築および感染対策防止加算の評価	村木優一	附属病院	¥3,510,000	補委 厚生労働省
炎症性動脈瘤形成候群の新規診断法の確立に関する研究	今中恭子	医学系研究科	¥1,600,000	補委 厚生労働省
CHPNY-ESO-1 ポリペプチドがんワクチンの術後食道癌症例を対象とした多施設共同前期第Ⅱ相臨床試験	珠玖洋	医学系研究科	¥167,429,000	補委 厚生労働省
胎児不整脈に対する胎児治療の臨床研究	池田智明	医学系研究科	¥2,000,000	補委 厚生労働省
周産期医療の質と安全の向上のための研究	池田智明	医学系研究科	¥500,000	補委 厚生労働省
感染症発生時の公衆衛生的対策の社会的影響の予測及び対策の効果に関する研究	田辺正樹	附属病院	¥500,000	補委 厚生労働省
新型インフルエンザ等発生時における予防接種の円滑な実施に関する研究	田辺正樹	附属病院	¥500,000	補委 厚生労働省
膝痛・腰痛・骨折に関する高齢者介護予防のための研究:大規模住民コホート(LOCOMOスタディ)の追跡	須藤啓広	医学系研究科	¥1,100,000	補委 厚生労働省
危険因子を固定する検診制度導入によるリウマチ制圧プロジェクト	若林弘樹	附属病院	¥500,000	補委 厚生労働省
HBVcccDNAの制御と排除を目指す新規免疫治療薬の開発	池田裕明	医学系研究科	¥6,500,000	補委 厚生労働省
成人先天性心疾患の診療体系の確立に関する研究	池田智明	医学系研究科	¥300,000	補委 厚生労働省
CHPNY-ESO-1 ポリペプチドがんワクチンの術後食道癌症例を対象とした多施設共同前期第Ⅱ相臨床試験	毛利靖彦	医学系研究科	¥2,500,000	補委 厚生労働省
粘膜免疫誘導型新規結核ワクチンの開発	野阪哲哉	医学系研究科	¥7,000,000	補委 厚生労働省
慢性の痛み診療の基盤となる情報の集約とより高度な診療のための医療システム構築に関する研究	笠井裕一	医学系研究科	¥1,000,000	補委 厚生労働省
小児期からの稀少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究	内田恵一	附属病院	¥450,000	補委 厚生労働省
乳幼児突然死候群(SIDS)および乳幼児突発性危急事態(ALTE)の病態解明等と死亡数減少のための研究	成田正明	医学系研究科	¥400,000	補委 厚生労働省
妊娠中の化学物質による、子どもの行動・情動への影響評価に関する臨床的・基礎的疫学的研究	そうけ島茂	医学系研究科	¥800,000	補委 厚生労働省
血液凝固異常症に関する調査研究	和田英夫	医学系研究科	¥1,000,000	補委 厚生労働省
難治性神経芽腫に対するIL2、CSF併用ch14.18免疫療法の国内臨床開発	堀浩樹	医学系研究科	¥300,000	補委 厚生労働省
ヒトの血管性認知症の病態を的確に再現し治療法開発に直結する新規マウスおよび霊長類モデルの開発研究	富本秀和	医学系研究科	¥500,000	補委 厚生労働省
特発性大腿骨頭壊死症の疫学調査・診断基準・重症度分類の改訂と診療ガイドライン策定を目指した大規模多施設研究	須藤啓広	医学系研究科	¥120,000	補委 厚生労働省
白血病幹細胞生成過程の統合オミクス解析	野阪哲哉	医学系研究科	¥1,950,000	補委 日本学術振興会
セクレトームに基づくマラリア肝臓ステージの宿主寄生虫間相互作用の解明	油田正夫	医学系研究科	¥9,880,000	補委 日本学術振興会

セクレトームに基づくマラリア肝臓ステージの宿主寄生虫間相互作用の解明	油田正夫	医学系研究科	¥8,500,000	補委	日本学術振興会
グリアの動態変化に及ぼす全身麻酔薬の作用～麻酔メカニズムの統一化に向けて～	島岡要	医学系研究科	¥910,000	補委	日本学術振興会
異種細胞間接着におけるネクチンの機能と作用機構	溝口明	医学系研究科	¥2,600,000	補委	日本学術振興会
乳癌進展における微小環境シグナリングのリン酸化プロテオミクス解析と組織での可視化	吉田利通	医学系研究科	¥3,640,000	補委	日本学術振興会
乳癌進展における微小環境シグナリングのリン酸化プロテオミクス解析と組織での可視化	吉田利通	医学系研究科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
マイクロRNAを指標とする分子疫学と実験研究に基づく繊維・粒子状物質のリスク評価	平工雄介	医学系研究科	¥3,120,000	補委	日本学術振興会
マイクロRNAを指標とする分子疫学と実験研究に基づく繊維・粒子状物質のリスク評価	平工雄介	医学系研究科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
生体内機能的T細胞の運命決定因子の解明とそのT細胞レセプター改変細胞療法への応用	池田裕明	医学系研究科	¥3,250,000	補委	日本学術振興会
生体内機能的T細胞の運命決定因子の解明とそのT細胞レセプター改変細胞療法への応用	池田裕明	医学系研究科	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
炎症関連発がんにおけるエピゲノム異常の機構解明とがん予防・治療への応用	村田真理子	医学系研究科	¥4,030,000	補委	日本学術振興会
炎症関連発がんにおけるエピゲノム異常の機構解明とがん予防・治療への応用	村田真理子	医学系研究科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
中国南部における上咽頭癌の早期診断法の開発とスクリーニングシステムの構築	村田真理子	医学系研究科	¥4,160,000	補委	日本学術振興会
中国南部における上咽頭癌の早期診断法の開発とスクリーニングシステムの構築	村田真理子	医学系研究科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
人工染色体技術を利用した熱帯熱マラリア原虫薬剤耐性機構の解明	岩永史朗	医学系研究科	¥2,210,000	補委	日本学術振興会
人工染色体技術を利用した熱帯熱マラリア原虫薬剤耐性機構の解明	岩永史朗	医学系研究科	¥3,770,000	補委	日本学術振興会
エキソソームを用いたアルツハイマー病の早期診断法の開発と予防法の確立	及川伸二	医学系研究科	¥2,470,000	補委	日本学術振興会
エキソソームを用いたアルツハイマー病の早期診断法の開発と予防法の確立	及川伸二	医学系研究科	¥4,030,000	補委	日本学術振興会
幹細胞白血病の分子基盤と細胞増殖制御	野阪哲哉	医学系研究科	¥2,210,000	補委	日本学術振興会
幹細胞白血病の分子基盤と細胞増殖制御	野阪哲哉	医学系研究科	¥3,640,000	補委	日本学術振興会
大腸癌発癌pathwayから検証した大腸癌前癌病変の非侵襲的血清診断法の確立	楠正人	医学系研究科	¥2,600,000	補委	日本学術振興会
大腸癌発癌pathwayから検証した大腸癌前癌病変の非侵襲的血清診断法の確立	楠正人	医学系研究科	¥4,420,000	補委	日本学術振興会
タイ国地域患者由来アルテミシニン耐性熱帯熱マラリア原虫の株化と耐性遺伝子の同定	岩永史朗	医学系研究科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
タイ国地域患者由来アルテミシニン耐性熱帯熱マラリア原虫の株化と耐性遺伝子の同定	岩永史朗	医学系研究科	¥2,730,000	補委	日本学術振興会
精神障害の親と暮らす子供が安心して支援に繋がるための体制づくり	鈴木大	附属病院	¥130,000	補委	日本学術振興会
次世代大動脈瘤診断治療法の開発:細胞外マトリクス分子による病態制御機構の解明	吉田恭子	医学系研究科	¥390,000	補委	日本学術振興会
腫瘍溶解性ウイルスHF10吸着化リンパ球による新規治療法の開発	珠玖洋	医学系研究科	¥260,000	補委	日本学術振興会
胎児期の環境・ゲノム・エピゲノム交互作用と出生後の成長軌跡:DOHaD学説の検証	平工雄介	医学系研究科	¥266,500	補委	日本学術振興会
胎児期の環境・ゲノム・エピゲノム交互作用と出生後の成長軌跡:DOHaD学説の検証	平工雄介	医学系研究科	¥84,500	補委	日本学術振興会
重大外傷をアウトカムした転倒リスクアセスメントの多施設共同研究による有用性検証	兼兒敏浩	附属病院	¥390,000	補委	日本学術振興会
高齢者ケアの質保証を推進する国際比較研究	磯和勅子	医学系研究科	¥195,000	補委	日本学術振興会
大動脈解離の分子メカニズム:細胞間相互作用による大動脈壁強度制御機構の解明	吉田恭子	医学系研究科	¥260,000	補委	日本学術振興会

師長職の成長過程と成長過程に関する経験の意味	後藤姉奈	医学系研究科	¥260,000	補委	日本学術振興会
地域密着型クリニックを拠点とする運動器不安定症高齢者の運動支援プログラム開発	福録恵子	医学系研究科	¥520,000	補委	日本学術振興会
NICU高照度環境が及ぼす早産児の睡眠・覚醒リズム形成と心身発達の前方視的研究	新小田春美	医学系研究科	¥1,619,991	補委	日本学術振興会
ゼブラフィッシュにおける発達神経毒性を指標とした放射線影響評価	西村有平	医学系研究科	¥650,000	補委	日本学術振興会
産科シミュレーターによる助産師学生への効果的な会陰保護技術トレーニング方法と評価	井関敦子	医学系研究科	¥520,000	補委	日本学術振興会
白金系抗がん薬の過敏症発現機序に基づく再投与可能患者の選別法構築	岩本卓也	附属病院	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
インテグリン活性化制御の乱れは免疫感受性を高めるか？	島岡要	医学系研究科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
パーキンソン病の自動車運転能力を正しく評価し療養者と社会の安全を守る研究	成田有吾	医学系研究科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
人口構造および医療介護資源等の社会的要因が地域の健康に与える影響に関する研究	大西丈二	医学系研究科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
抗凝固療法のモニターと新しい抗血栓機序の解明	和田英夫	医学系研究科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
糖尿病薬併用療法におけるファーマコゲノミクス検査の有用性の検討	中谷中	附属病院	¥390,000	補委	日本学術振興会
高温暴露時の心臓への熱による直接的傷害の機序解明	那谷雅之	医学系研究科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
遺伝子改変マウスを用いた肝線維化の発症機序の解明と新規治療法の開発	岩佐元雄	附属病院	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
加齢による肝疾患の病態制御の分子基盤の解明—特にSIRT1の機能解析—	白木克哉	医学系研究科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
網羅的ペプチドミクスによるNASHの病態解析と分子標的の探索	山本憲彦	附属病院	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
心臓線維化における、内皮間葉移行現象の分子機序の解明	岡本隆二	附属病院	¥520,000	補委	日本学術振興会
RNA干渉を応用した慢性閉塞性疾患の新規治療戦略の開発	Gabazza	医学系研究科	¥910,000	補委	日本学術振興会
エピゲノム制御分子を介した白血病の分子病態の解明	小埜良一	医学系研究科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
白血病微小環境(骨髄及び中枢神経系)におけるN-カドヘリン分子機序の解明	岩本彰太	附属病院	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
弱毒ポリオウイルスを用いた神経芽腫の新しい治療法の研究	豊田秀実	医学系研究科	¥780,000	補委	日本学術振興会
肺高血圧における癌類似の病変形成と退縮の分子細胞機序の解明:新規動物モデルの検討	三谷義英	附属病院	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
花粉症皮膚炎の病態解明と抑制性細胞誘導による治療	水谷仁	医学系研究科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
パニック障害における脳内ネットワーク障害と疾患発症要因についての統合的研究	谷井久志	医学系研究科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
精神病症状を伴う気分障害の視床下部一下垂体系脆弱性と前頭葉ネットワークの障害	城山隆	附属病院	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
肝移植における肝炎ウイルス再発に対するテラーメード治療	臼井正信	医学系研究科	¥650,000	補委	日本学術振興会
癌胎児性抗原特異的キメラ抗原受容体導入T細胞による消化器癌治療法の開発	王立楠	医学系研究科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
食道癌に同時発現している癌抗原分子間でのがんワクチン前後の免疫拡大とその意義	影山慎一	医学系研究科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
直腸癌に対する化学放射線療法最適化～エピジェネティクスの導入による新展開～	井上靖浩	附属病院	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
肺高血圧における細胞外マトリックスの役割とその制御	新保秀人	医学系研究科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
エリスロポエチンによる虚血障害脊髄組織の再生	平野弘嗣	附属病院	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
肺虚血再灌流障害の発症機序—薬剤によるIPC現象の確立—	島本亮	附属病院	¥780,000	補委	日本学術振興会



硫酸化ジェラン線維性素材を用いた生理活性コイルの開発研究	松島聡	医学系研究科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
椎間板修復治療の臨床応用—生物学的修復治療の開発—	明田浩司	附属病院	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
炎症性サイトカイン抑制による骨肉腫肺転移の制御	若林弘樹	附属病院	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
硫化水素による実験的肺高血圧治療と内因性硫化水素産生系の解析	丸山一男	医学系研究科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
ビスホスホネート性顎骨壊死におけるカルシウム作用の解明とその制御に基づく予防戦略	新井直也	医学系研究科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
地域高齢者の防災対策を基盤とした地域防災力強化のためのシステム構築	磯和勅子	医学系研究科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
自殺未遂者に対する携帯メールを利用した自殺予防アプローチの構築	児玉豊彦	医学系研究科	¥1,540,543	補委	日本学術振興会
冠動脈MRAにおける冠動脈狭窄のコンピュータ支援検出システムの構築と有用性の検証	中山良平	附属病院	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
アピコンプレクサ類原虫侵入ステージ形成の分子基盤の解明	金子伊澄	医学系研究科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
MCP-1およびテネシシンCによる造血細胞由来癌関連線維芽細胞の動員と大腸癌進展	榎屋正浩	医学系研究科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
非アルコール性脂肪性肝障害における組織リモデリング機構の共通基盤の解明	竹井謙之	医学系研究科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
EUS-FNA検体を用いた、新たな腫瘍集学的治療戦略	伊佐地秀司	医学系研究科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
内皮細胞間ギャップ結合による血管新生の制御機構の解明	岡本貴行	医学系研究科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
RNA干渉を応用した肺高血圧症の新規治療戦略の開発	田口修	医学系研究科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
RNAを用いた難治性呼吸器疾患治療への創薬の研究	小林哲	附属病院	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
リンパ球造血異常の解析からの骨髄増殖性腫瘍の病態解明へのアプローチ	片山直之	医学系研究科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
ヒトリンパ球系分化の包括的解析と骨髄リンパ球ニッチの役割の解明	大石晃嗣	附属病院	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
インスリン様成長因子が神経芽腫細胞の生存・増殖に果たす役割の解明	駒田美弘	医学系研究科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
聴覚変化検出からみたうつ病の神経基盤	元村英史	附属病院	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
15-O 水PETを基準とした3テスラ心筋血流MRIの心筋血流量解析法の開発	石田正樹	附属病院	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
2管球CTを用いた心筋遅延造影と細胞外液分画の評価法の確立	北川覚也	附属病院	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
臨床病期Cの進行肝癌に対するソラフェニブと肝動脈塞栓併用療法:多施設共同臨床試験	浦城淳二	医学系研究科	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
肝細胞癌に対するミリプラチン・リビドール懸濁液動注後経皮的ラジオ波凝固療法	山中隆嗣	附属病院	¥910,000	補委	日本学術振興会
胃癌リンパ節転移特異性lncRNAの解明-胃癌外科的個別化治療を目指して-	大井正貴	医学系研究科	¥2,600,000	補委	日本学術振興会
直腸癌術前化学放射線療法後の再発機序と宿主依存性因子の解明	三枝晋	医学系研究科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
二光子励起顕微鏡を用いた癌転移微小環境生体内可視化による薬物動態評価法の開発	田中光司	附属病院	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
二光子励起顕微鏡を用いた敗血症マウス微小循環障害の生体内リアルタイムイメージング	小林美奈子	医学系研究科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
腫瘍撲滅に向けたテラーメード治療—化学放射線療法抵抗性・癌幹細胞に対する戦略—	水野修吾	附属病院	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
光感受性物質アクリジンオレンジによる放射線治療効果増幅法の研究	松原孝夫	医学系研究科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
悪性骨軟部腫瘍に対する新規温度反応性リポソームとラジオ波焼灼術との併用療法の検討	浅沼邦洋	医学系研究科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
関節軟骨に対するテネシシンCの修復促進・変性抑制の分子機構解明と治療への応用	長谷川正裕	附属病院	¥1,690,000	補委	日本学術振興会

細胞競合により制御される前立腺癌間質リモデリングの解明	石井健一郎	医学系研究科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
原発性線毛運動不全症の診断精度向上に関する研究	竹内万彦	医学系研究科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
Netsの概念に基づく2光子レーザー顕微鏡を用いた壊死性腸炎の病態解明と治療戦略	小池勇樹	附属病院	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
チーム医療を担う人材育成のための看護基礎教育プログラムの開発	林智子	医学系研究科	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
がん患者のアドバンス・ケア・プランニングがもたらす効果に関する研究	辻川真弓	医学系研究科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
地域資源を活用した介護保険施設の福祉避難所機能強化を目指した防災システムの構築	北川亜希子	医学系研究科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
在日ブラジル人妊産婦の心身の健康状態とその社会的意味づけ及び対処行動について	畑下博世	医学系研究科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
炎症性腸疾患時のタクロリムスの薬物体内動態と薬効制御におけるマイクロRNAの役割	池村健治	附属病院	¥2,340,000	補委	日本学術振興会
生体肝移植時のカルシニューリン阻害薬の体内動態制御におけるマイクロRNAの役割	奥田真弘	附属病院	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
妊娠中のウイルス感染モデルを用いた神経発達の研究	大河原剛	医学系研究科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
パラミクソウイルスの膜融合における機能的および物理的HN-F相互作用の解析	鶴留雅人	医学系研究科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
慢性炎症と代謝の相互作用を担うシグナル機構の解析	緒方正人	医学系研究科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
職場のいじめ、ハラスメントを予防するポピュレーションアプローチの開発	高木二郎	医学系研究科	¥780,000	補委	日本学術振興会
日本における静脈血栓塞栓症治療に関する疫学調査	中村真潮	医学系研究科	¥2,600,000	補委	日本学術振興会
境界型肺高血圧症における予後規定因子の同定と早期治療効果に関する検討	山田典一	附属病院	¥2,990,000	補委	日本学術振興会
東アジアから発信するNKT細胞リンパ腫新世代治療の最適化	山口素子	附属病院	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
慢性GVHD組織線維化病態におけるテネイシン-Cの役割の解明と標的治療法の開発	俵功基	附属病院	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
成体の血液細胞系譜の起源の多様性と機能との関連性についての幹細胞学的研究	山根利之	医学系研究科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
M2マクロファージを用いた移植後慢性GVHDに対する新規細胞治療法の開発	平山雅浩	医学系研究科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
炎症機序を標的とした肺動脈性肺高血圧の新規治療法の開発	澤田博文	医学系研究科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
プロテオミクスを用いたHirschsprung病の新規診断マーカーの探索	井上幹大	附属病院	¥4,290,000	補委	日本学術振興会
慢性皮膚炎が引き起こす炎症性サイトカインによる全身臓器病変に関する研究	山中恵一	医学系研究科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
3テスラMOLLI MRIによる急性心筋梗塞の心筋組織性状評価法の開発	永田幹紀	附属病院	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
3T MRIによる冠血流予備能評価:心筋血流PET・FFRIによる検証	市川泰崇	附属病院	¥2,470,000	補委	日本学術振興会
胃癌腹膜播種に關与するlncRNAの解明—新規診断・治療法への応用を目指して—	毛利靖彦	医学系研究科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
胃癌腹膜播種を規定するmicroRNAの網羅的解析と治療戦略	冲上正人	附属病院	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
エピゲノムから考案した潰瘍性大腸炎癌化ハイリスク症例の診断方法の確立	問山裕二	医学系研究科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
抗凝固療法不要な、自己組織による内皮化人工血管の作成、臨床応用	小沼武司	附属病院	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
単一アーム収束型の電気式離脱型頭蓋内ステントの開発研究	阪井田博司	医学系研究科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
サルコペニア治療への挑戦—骨格筋虚血再灌流障害の病態とオルガネラが果たす役割—	辻井雅也	医学系研究科	¥2,990,000	補委	日本学術振興会
Expandable pedicle screw systemの基礎的研究	笠井裕一	医学系研究科	¥3,900,000	補委	日本学術振興会

肺高血圧におけるスーパーオキシドの役割とキサンチンオキシターゼ阻害による治療	横地歩	附属病院	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
前立腺癌間質パネルから紐解くりカンド非依存的なアンドロゲン受容体活性化分子機構	杉村芳樹	医学系研究科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
卵管上皮局在ペプチドによる卵管内腔環境の構築とストレスの関係	江藤みちる	医学系研究科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
マクロライドの作用機序の解明と新しい併用療法の開発	石永一	附属病院	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
嗅神経切断後のTNF- $\alpha$ 阻害薬による嗅神経の機能的再生促進法の確立	宮村朋孝	附属病院	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
嗅覚障害に対する新規他覚的検査法確立と再生医療開発に関する研究	小林正佳	医学系研究科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
電気生理学的手法を用いた近視眼及び正視眼における網膜内層機能の評価	生杉謙吾	医学系研究科	¥3,510,000	補委	日本学術振興会
完全型先天停性夜盲のイヌモデルの確立と機能・遺伝子解析	近藤峰生	医学系研究科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
重症な炎症性腸疾患患児における医療関連感染予防に向けた排泄ケアプログラムの開発	村端真由美	医学系研究科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
過疎・高齢化地域の認知症高齢者の防災力強化を目指した支援体制の構築	服部由佳	医学系研究科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
炎症関連大腸がんの発がんに対するMIFワクシ療法の開発	加藤琢磨	医学系研究科	¥780,000	補委	日本学術振興会
中堅介護職員における相談対応力向上のための支援プログラムの開発	高木二郎	医学系研究科	¥65,000	補委	日本学術振興会
前立腺癌における神経ペプチドMANSERINの機能解析	成田正明	医学系研究科	¥572,000	補委	日本学術振興会
前立腺癌における神経ペプチドMANSERINの機能解析	石井健一郎	医学系研究科	¥572,000	補委	日本学術振興会
黄砂曝露マウスの肺における酸化ニトロ化DNA損傷に基づく発がん性評価と予防	平工雄介	医学系研究科	¥260,000	補委	日本学術振興会
腫瘍関連マクロファージによる大腸癌の化学療法薬耐性獲得機構の解明	白石泰三	医学系研究科	¥130,000	補委	日本学術振興会
腫瘍関連マクロファージによる大腸癌の化学療法薬耐性獲得機構の解明	広川佳史	医学系研究科	¥130,000	補委	日本学術振興会
腫瘍関連マクロファージによる大腸癌の化学療法薬耐性獲得機構の解明	石井健一郎	医学系研究科	¥780,000	補委	日本学術振興会
前立腺がん治療への応用を目指した磁性体ナノ粒子と関連遺伝子の機能解析	白石泰三	医学系研究科	¥91,000	補委	日本学術振興会
自殺未遂歴のある精神障害者に対する特化型就労支援プログラムの開発と展開	児玉豊彦	医学系研究科	¥228,750	補委	日本学術振興会
体表面非接触型電気インピーダンスCT装置の開発	今井寛	附属病院	¥104,000	補委	日本学術振興会
体表面非接触型電気インピーダンスCT装置の開発	岩下義明	附属病院	¥26,000	補委	日本学術振興会
SPハフォーマンス評価票の開発とSPの質の実態調査	後藤道子	医学系研究科	¥260,000	補委	日本学術振興会
倫理的問題解決能力測定尺度と能力育成CAI教材の開発	井村香積	医学系研究科	¥32,500	補委	日本学術振興会
サルコペニアを標的とした心臓悪液質および誤嚥性肺炎の病態解明と栄養療法の確立	三木誓雄	医学系研究科	¥13,000	補委	日本学術振興会
パネルデータ分析のCTGデータ解析への応用	池田智明	医学系研究科	¥130,000	補委	日本学術振興会
プロテオーム・メタボローム解析を用いたALS発症機構の解明とバイオマーカーの探索	及川伸二	医学系研究科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
時空特異的白血球幹細胞発生モデルと病態特性	野阪哲哉	医学系研究科	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
造血系疾患の治療を目指した歯髄、骨髄の神経堤及び中胚葉由来間葉の造血支持能の研究	山崎英俊	医学系研究科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
個別化医療の時代に出現した新たな創薬ベンチャー・モデルに関する研究	西村訓弘	医学系研究科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
新規腫瘍免疫寛容モデルの創成とヒト悪性腫瘍免疫治療機構	田中利男	医学系研究科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会

微小粒子状物質による炎症反応におけるエンドソーム・リソソームの役割の解明	平工雄介	医学系研究科	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
次世代型経鼻噴霧ワクチンベクターを用いた乳癌の転移抑制	河野光雄	医学系研究科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
キメラ抗原受容体導入Th1Th17を用いたT細胞輸注療法のパラダイムシフト	加藤琢磨	医学系研究科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
PDEの唾液タンパク質合成・分泌促進による新型インフルエンザの新治療方法開発	村田琢	附属病院	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
遺伝カウンセリングにおける心理社会的支援プログラムの構築	望木郁代	医学系研究科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
ゲノム不安定性を示すがん細胞を標的とした抗がんアプローチの確立	黒田垂歩	医学系研究科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
成熟心筋を細胞周期に再入させることによる心筋再生の基礎的研究	橋詰令太郎	医学系研究科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
ENU変異熱帯熱マラリア原虫コレクションの構築と変異原因遺伝子同定法の開発	岩永史朗	医学系研究科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
転写因子を用いた人工誘導法によるスポロゾイト大量生産技術の開発	油田正夫	医学系研究科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
Hsp90阻害による炎症性皮膚疾患の新規低分子治療薬の開発	欠田成人	医学系研究科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
数値流体力学解析を用いた未破裂脳動脈瘤の破裂予測に関する研究	鈴木秀謙	医学系研究科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
正の分布から生成されるRadial分布の性質と位置推定における精度評価	小椋透	附属病院	¥390,000	補委	日本学術振興会
ウイルスベクターを用いた新規ノロウイルスワクチンの開発	河野光雄	医学系研究科	¥650,000	補委	日本学術振興会
睡眠・覚醒リズムと身体機能・能力の関係を解明し高齢者を健康的な日常活動へと導く研究	新小田春美	医学系研究科	¥170,750	補委	日本学術振興会
里帰り分娩後から1か月間における初めて母親・父親となった夫婦の3人家族作りの体験	畑下博世	医学系研究科	¥39,000	補委	日本学術振興会
間葉系幹細胞を用いた慢性根尖性歯周炎に対する新規抗炎症療法の開発	吉田恭子	医学系研究科	¥260,000	補委	日本学術振興会
ジーンターゲット法を用いた蚊ゲノムに内在するRNAウイルス様遺伝子の機能解明	油田正夫	医学系研究科	¥130,000	補委	日本学術振興会
ScFv抗化テネシンC抗体による心疾患の分子標的イメージング診断法の確立	下條尚志	医学系研究科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
血管壁リモデリング制御因子Nogo-Bの分子機能解析	近藤ゆか	附属病院	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
高齢者終末期ケアにおける多職種連携に対するケア専門職の認識と関連要因の検討	平松万由子	医学系研究科	¥650,000	補委	日本学術振興会
従来型ワクチンを凌ぐ有効性を持つマクロファージ指向型ワクチンの免疫誘導機構の解明	村岡大輔	医学系研究科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
食餌性肥満ゼブラフィッシュを用いた糖代謝異常ゲノムメカニズムの解明研究	臧黎清	医学系研究科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
アルコールの心筋細胞への影響からみた突然死の解明のための基礎研究	小澤周二	医学系研究科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
生体肝移植におけるmarginal donor graft適当拡大に関する研究	栗山直久	医学系研究科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
回腸粘膜上皮細胞の遺伝子発現情報を用いた潰瘍性大腸炎術後回腸炎発症予測法の開発	大北喜基	医学系研究科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
肝虚血性再灌流障害(IRI)は脂肪肝成因によって異なるか？	藤井武宏	医学系研究科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
マトリックス細胞蛋白に着目したくも膜下出血後早期脳損傷の病態解明	芝真人	附属病院	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
軟骨再生における荷重負荷の影響について	西村明展	医学系研究科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
末梢神経再生における骨代謝関連因子の検討	國分直樹	医学系研究科	¥780,000	補委	日本学術振興会
多光子レーザー顕微鏡を用いた吸入麻酔薬による神経細胞死の機序の解明と予防法の開発	田川剛志	附属病院	¥390,000	補委	日本学術振興会
間質をターゲットとする去勢抵抗性前立腺癌新規治療戦略の探索	吉尾裕子	附属病院	¥1,170,000	補委	日本学術振興会

プロテオミクスを用いた胆道閉鎖症の新規マーカーの探索	大竹耕平	附属病院	¥650,000	補委	日本学術振興会
口腔悪性腫瘍治療効果の向上を目的としたBax mRNA導入遺伝子治療の開発	奥村健哉	医学系研究科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
口腔扁平上皮癌細胞に対するハイドロキシアパタイトナノ粒子による新規化学療法の開発	朽名智彦	附属病院	¥3,498,760	補委	日本学術振興会
実践的看護技術力強化のためのシミュレーター開発と教育効果の検討	種田ゆかり	医学系研究科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
認知神経科学的アプローチによる音楽の認知症予防・進行抑制作用の解明	田部井賢一	医学系研究科	¥910,000	補委	日本学術振興会
血球細胞のp38経路を介した代謝と老化の制御機構	大隈貞嗣	医学系研究科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
法実務応用を目指したフェノバルビタール中毒時における薬物動態解析	池村真弓	医学系研究科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
血中・尿中膝癌由来ペプチドの網羅的解析による新規バイオマーカーの探索	稲垣悠二	附属病院	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
運動とDPP-4阻害薬が糖尿病を有する心筋梗塞患者の心血管機能に与える効果の検討	藤本直紀	医学系研究科	¥2,990,000	補委	日本学術振興会
活性化プロテインCによるアレルギー性疾患新規治療法基盤の開発	高木健裕	附属病院	¥2,210,000	補委	日本学術振興会
テネシンの軟骨変性抑制作用における遺伝子発現の解析	松井佑梨世	医学系研究科	¥2,470,000	補委	日本学術振興会
RANKRANKL/OPG系を標的とした椎間板変性に対する革新的治療法の開発	竹上徳彦	附属病院	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
癌間質由来マルチバイオマーカー探索による早期去勢抵抗性前立腺癌予測システムの構築	佐々木豪	附属病院	¥2,210,000	補委	日本学術振興会
嗅神経再生促進のための抗炎症治療戦略のタイムリミットの解明	北野雅子	附属病院	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
炎症を標的とした嗅覚障害治療法の確立	玉利健悟	医学系研究科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
トロンボモジュリンと好中球の相互作用と細胞接着への影響の解析	川本英嗣	附属病院	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
数値流体力学を用いた脳動脈瘤の瘤壁性状診断法の確立	佐野貴則	附属病院	¥2,340,000	補委	日本学術振興会
がん抑制遺伝子Rblによるミトコンドリア代謝制御を介した腫瘍抑制メカニズムの解明	竹林慎一郎	医学系研究科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
P糖蛋白発現調節を介した抗がん剤耐性機構におけるmicroRNA-145の役割	山本弥里	附属病院	¥600,000	補委	日本学術振興会
時系列血液検査データを用いた、薬剤起因性副作用シグナルの網羅的検出とその評価	本多立	附属病院	¥500,000	補委	日本学術振興会
血管内感染症に対する全血マルチプレックスPCRによる細菌遺伝子診断に関する研究	田辺正樹	附属病院	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
思春期メンタルヘルスリテラシーの向上プログラムの開発	井倉一政	医学系研究科	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
リンパ系腫瘍・多発性骨髄腫に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	山口素子	医学部附属病院	¥300,000	補委	独立行政法人 国立がん研究センター
脳動脈瘤塞栓術におけるHydroSoft coilの塞栓効果に関する多施設共同前向き登録研究（研究略称：JHSR）	當麻直樹	医学部附属病院	¥21,000	補委	公益財団法人 先端医療振興財団
平成26年度HIV感染者等保険福祉相談事業（エイズ中核拠点病院相談事業）	大石晃嗣	医学部附属病院	¥950,000	補委	公益財団法人 エイズ予防財団
小児がんの登録・中央診断の推進を基盤とする病態解明と先駆的診断法開発	出口隆生	医学部附属病院	¥2,900,000	補委	独立行政法人 国立成育 医療研究センター
血栓性血小板減少性紫斑病に対するリツキシマブの第Ⅱ相医師主導治験	和田英夫	医学部附属病院	¥300,000	補委	学校法人 埼玉医科大学
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験（J-D01T3）	矢野 裕	医学部附属病院	¥500,000	補委	公益財団法人 日本糖尿病財団
保存期慢性腎臓病患者を対象とした臨床研究—ダルベオエチン アルファ製剤低反応に関する検討—（BRIGHTEN）	石川英二 (村田智博)	医学部附属病院	¥97,200	補委	公益財団法人 先端医療振興財団
StageⅢ 結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験 ACHIEVE Trail（JFMC47-1202-C3）	井上靖浩	医学部附属病院	¥231,000	補委	公益財団法人 がん集学的治療研究財団
「びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の新規難治性病型に対する治療研究」	山口素子	医学部附属病院	¥14,300,000	補委	厚生労働省

小児骨髄系腫瘍に対する標準的治療法の確立	岩本彰太郎	医学部附属病院	¥2,000,000	補 委	京都大学（厚生労働省）
International Study for treatment of Standard Risk Childhood Relapsed ALL 2010 (IntReALL SR 第一再発小児急性リンパ性白血病標準リスク群に対する第Ⅲ相国際共同臨床研究	豊田秀実	医学部附属病院	¥216,000	補 委	独立行政法人 国立病院機構名古屋医療センター
心房細動例における心原性血栓症予防のためのフルフェリンならびに新規抗凝固薬使用状況の実態に関する多施設共同観察研究 (J-RHYTHM Registry 2)	藤井英太郎	医学部附属病院	¥232,000	補 委	J-RHYTHM Registry 2公益財団法人 日本心臓財団)
小児造血器腫瘍（リンパ腫瘍）に対する標準治療確立のための研究【急性リンパ性白血病におけるフローサイトメトリ法による微小残存病変の診断の確立】	出口隆生	医学部附属病院	¥500,000	補 委	学校法人聖路加国際大学
バイオバンクの構築と臨床情報データベース化（生体試料の収集）	出口隆生	医学部附属病院	¥8,250,000	補 委	国立大学法人東京大学医科学研究所
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	松峯昭彦	医学系研究科	¥850,000	補 委	国立大学法人九州大学
海馬神経回路形成と可塑性の発現における形態学的解析	溝口明	医学系研究科	¥14,950,000	補 委	独立行政法人 科学技術振興機構
「効果的な複合免疫療法の確立」（T細胞養子免疫療法における投与T細胞と免疫効果の評価による治療戦略の構築）	池田裕明	医学系研究科	¥19,500,000	補 委	文部科学省
日本人における大脳白質病変の老年症候群に及ぼす作用と危険因子の解明に関する研究 血管性認知症（皮質下性）の病態解析と診断補助ツールの作成	富本秀和	医学系研究科	¥1,400,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
ERATO 秋吉バイオナノトランスポータープロジェクト	珠玖 洋	医学系研究科	¥28,000,000	補 委	独立行政法人 科学技術振興機構
平成26年度医工連携事業化推進事業「自動化による術中高速組織診断のための新型免疫組織染色装置の開発」	西村訓弘	医学系研究科	¥1,562,220	補 委	公益財団法人あきた企業活性化センター
生活習慣病予防重点プロジェクト特定健診受診率向上事業	伊藤正明	医学系研究科	¥6,000,000	補 委	名張市
骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	松峯昭彦	医学系研究科	¥300,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
先天性甲状腺機能低下症に関する調査・研究	駒田美弘	医学系研究科	¥10,216,800	補 委	三重県
先天性副腎過形成症に関する調査・研究	駒田美弘	医学系研究科	¥10,216,800	補 委	三重県
名張市において望まれる地域医療に関する調査研究事業	竹村洋典	医学系研究科	¥3,000,000	補 委	名張市
ナノゲルデリバリーシステムを応用したシャッフルペプチド次世代がんワクチンの開発	宮原慶裕	医学系研究科	¥4,000,000	補 委	国立大学法人名古屋大学
ウイルス表面蛋白改変技術を用いた次世代Virosomeによる遺伝子組換え万能インフルエンザワクチンの研究開発	野阪哲哉	医学系研究科	¥4,000,000	補 委	国立大学法人名古屋大学
滑膜肉腫に対する次世代型ベクターによるTCR改変T細胞を用いた有効な免疫細胞輸注療法の開発	影山慎一	医学系研究科	¥50,000,000	補 委	国立大学法人名古屋大学
次世代レトロウイルスベクターによる難治性造血器腫瘍に対するT細胞レセプター改変T細胞輸注療法	珠玖洋	医学系研究科	¥52,000,000	補 委	国立大学法人名古屋大学
志摩市困難事例等アドバイザー業務委託	大西 丈二	医学部	¥259,200	補 委	志摩市
非代償性心不全で入院した体液貯留に対してトルバタン治療を受けた患者に関する多施設共同前向きコホート研究 (MT FUJI study)	伊藤正明	医学系研究科	¥283,500	補 委	公益財団法人先端医療振興財団
がん治療に伴う皮膚変化の評価方法と標準的ケア確立に関する研究	水谷 仁	医学系研究科	¥678,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
頸動脈ステント留置術後の再狭窄に対するシロスタゾールの効果に関する多施設共同無作為比較試験 (CAS-CARE)	鈴木秀謙	医学系研究科	¥252,000	補 委	公益財団法人先端医療振興財団
重症好酸球性副鼻腔炎に対する新しい治療戦略 好酸球性副鼻腔炎治療に関する探索研究	小林正佳	医学系研究科	¥700,000	補 委	国立大学法人福井大学
医療・保健・福祉の現場を支える「多職種連携力」を持つ人材育成プログラム開発事業	後藤道子	医学系研究科	¥19,517,639	補 委	文部科学省
在宅・地域医療における「多職種連携力」養成のための教育プログラム開発	若林英樹	医学部附属病院	¥14,661,658	補 委	文部科学省
拠点病院における中核的専門人材の連携コーディネート力およびマネジメント力を高める教育プログラム開発	森 洋平	医学部附属病院	¥14,561,745	補 委	文部科学省
同種移植後再発の成人T細胞白血病リンパ腫に対する次世代型レトロウイルスベクターによるT細胞レセプター遺伝子導入ドナーリンパ球輸注療法	池田裕明	医学系研究科	¥78,650,000	補 委	支出負担行為担当官 厚生労働省
平成26年度三重県認知症サポート医フォローアップ研修事業	木田博隆	医学系研究科	¥440,000	補 委	公益社団法人三重県医師会
滑膜肉腫に対する新設計がんペプチドワクチンと遺伝子改変T細胞療法から成る複合的がん免疫療法の研究開発	影山慎一	医学系研究科	¥120,000,000	補 委	厚生労働省

平成26年度南伊勢町町民包括評価集計分析事業	大西丈二	医学部	¥600,000	補 委	南伊勢町
基本チェックリストおよび日常生活圏域ニーズ調査実施支援事業	大西丈二	医学部	¥240,000	補 委	紀北町
ゼブラフィッシュを用いた神経軸索伸展の個体レベル評価系構築に必要な試験	田中利男	医学系研究科	¥12,711,600	補 委	独立行政法人医薬基盤研究所
小児・若年者の視覚障害の早期発見・診断・治療・訓練・リハビリ等の自立支援に資する技術開発等に関する研究	近藤峰生	医学系研究科	¥900,000	補 委	独立行政法人国立成育医療研究センター
制御性T細胞を抑制する低分子化合物の免疫応答への作用の解析	珠玖 洋	医学系研究科	¥1,500,000	補 委	静岡県公立大学法人
新しいヒトがん幹細胞移植ゼブラフィッシュの開発研究	田中利男	医学系研究科	¥660,000	補 委	独立行政法人 科学技術振興機構
ウイルス表面蛋白改変技術を用いた次世代Virusomeによる遺伝子組換え万能インフルエンザワクチンの研究開発	野阪哲哉	医学系研究科	¥4,000,000	補 委	国立大学法人名古屋大学
非代償性心不全で入院し、体液貯留に対してトルバプタン治療を受けた患者に関する多施設共同前向きコホート研究 (MT FUJI study)	伊藤正明	医学系研究科	¥194,400	補 委	公益財団法人先端医療振興財団

計 283

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- (注) 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- (注) 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印を付けた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Yasuharu Yamada	Anesthesiology and Critical Care Medicine, Mie University School of Medicine	Effect of thrombomodulin on the development of monocrotaline-induced pulmonary hypertension.	J Anesth
2	Yoshiaki Iwashita	Department of Anesthesiology and Critical Care Medicine, School of Medicine	Thrombomodulin protects against lung damage created by high level of oxygen with large tidal volume mechanical ventilation in rats.	J Intensive Care
3	Hiroshi Sakaida	Department of Otorhinolaryngology, Head & Neck Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Measurement of Japanese cedar pollen-specific IgE in nasal secretions.	Allergol Int
4	Hiroshi Sakaida	Department of Otorhinolaryngology-Head and Neck Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Cavernous sinus thrombosis: linking a swollen red eye and headache.	Lancet
5	Shinji Kanemitsu	Department of Thoracic and Cardiovascular Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	A case of a large cardiac lipoma with coronary artery disease.	Asian Cardiovasc Thorac Ann
6	K Nishikawa	Department of Nephro-Urologic Surgery and Andrology, Mie University School of Medicine	Usefulness of monitoring cell-mediated immunity for predicting post-kidney transplantation viral infection.	Transplant. Proc.
7	Kouhei Nishikawa	Department of Nephro-Urologic Surgery and Andrology, Mie University Graduate School of Medicine	A case of IgG4-positive plasma cell-rich tubulointerstitial nephritis in a kidney allograft mimicking IgG4-related kidney disease.	Nephrology (Carlton)



8	Yasushi Yamada	Department of Urology, Mie University School of Medicine	The usefulness of diffusion-weighted magnetic resonance imaging in bladder cancer staging and functional analysis.	J Cancer Res Ther
9	Tomoko Ogawa	Department of Breast Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Long-term results of breast volume replacement using an inframammary adipofascial flap after breast-conserving surgery.	Breast Cancer
10	Tomoko Ogawa	Department of Breast Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Usefulness of breast-conserving surgery using the round block technique or modified round block technique in Japanese females.	Asian J Surg
11	Tomoko Akeda	Department of Dermatology, Mie University, Graduate School of Medicine	CD8+ T cell granzyme B activates keratinocyte endogenous IL-18.	Arch. Dermatol. Res.
12	Keiichi Yamanaka	Department of Dermatology, Mie University, Graduate School of Medicine	Biologic therapy improves psoriasis by decreasing the activity of monocytes and neutrophils.	J. Dermatol.
13	K Isoda	Department of Dermatology, Mie University Graduate School of Medicine	Effects of washing of the face with a mild facial cleanser formulated with sodium laureth carboxylate and alkyl carboxylates on acne in Japanese adult males.	Skin Res Technol
14	Keiichi Yamanaka	Department of Dermatology, Mie University, Graduate School of Medicine	Persistent release of IL-1s from skin is associated with systemic cardio-vascular disease, emaciation and systemic amyloidosis: the potential of anti-IL-1 therapy for systemic inflammatory diseases.	PLoS ONE
15	Haruyuki Takaki	Departments of Radiology, Mie University School of Medicine	Radiofrequency ablation versus radical nephrectomy: clinical outcomes for stage T1b renal cell carcinoma.	Radiology
16	Junko Nishida	Department of Radiology, Mie University School of Medicine	Model-based iterative reconstruction for multi-detector row CT assessment of the Adamkiewicz artery.	Radiology

17	Makiko Fujita	Department of Radiology, Mie University School of Medicine	Dose reduction in dynamic CT stress myocardial perfusion imaging: comparison of 80-kV/370-mAs and 100-kV/300-mAs protocols.	Eur Radiol
18	Koichiro Yamakado	Department of Interventional Radiology, Mie University School of Medicine	Radiofrequency ablation for the treatment of recurrent bone and soft-tissue sarcomas in non-surgical candidates.	Int. J. Clin. Oncol.
19	Takatoshi Higashigawa	Department of Radiology, Mie University Hospital	Upside down use of Gore Excluder or Cook Zenith legs.	Cardiovasc Intervent Radiol
20	Masato Yonezawa	From the Departments of Radiology, Mie University Hospital	Quantitative analysis of 1.5-T whole-heart coronary MR angiograms obtained with 32-channel cardiac coils: a comparison with conventional quantitative coronary angiography.	Radiology
21	Shingo Kato	Department of Radiology, Mie University Hospital	Detection of diminished response to cold pressor test in smokers: assessment using phase-contrast cine magnetic resonance imaging of the coronary sinus.	Magn Reson Imaging
22	Hiroshi Kodama	Department of Radiology, Mie University School of Medicine	Radiofrequency ablation for ground-glass opacity-dominant lung adenocarcinoma.	J Vasc Interv Radiol
23	Koichiro Yamakado	Department of Interventional Radiology, School of Medicine	Subgrouping of intermediate-stage (BCLC stage B) hepatocellular carcinoma based on tumor number and size and Child-Pugh grade correlated with prognosis after transarterial chemoembolization.	Jpn J Radiol
24	Masaki Ishida	Department of Radiology, Mie University Hospital	Magnetic resonance of coronary arteries: assessment of luminal narrowing and blood flow in the coronary arteries.	J Thorac Imaging
25	Maki Umino	Department of Radiology, Mie University School of Medicine	High-signal-intensity abnormalities evaluated by 3D fluid-attenuated inversion recovery imaging within the drainage territory of developmental venous anomalies identified by susceptibility-weighted imaging at 3 T.	Jpn J Radiol

26	Mai Miyagawa	Department of Radiology, Mie University School of Medicine	Low signal intensity in U-fiber identified by susceptibility-weighted imaging in two cases of progressive multifocal leukoencephalopathy.	J. Neurol. Sci.
27	Koichiro Yamakado	Department of Interventional Radiology, Mie University School of Medicine	Image-guided ablation of adrenal lesions.	Semin Intervent Radiol
28	Yusuke Kurobe	Department of Radiology, Mie University School of Medicine	Myocardial delayed enhancement with dual-source CT: advantages of targeted spatial frequency filtration and image averaging over half-scan reconstruction.	J Cardiovasc Comput Tomogr
29	Koichiro Yamakado	Department of Interventional Radiology, School of Medicine	Prognosis of patients with intermediate-stage hepatocellular carcinomas based on the Child-Pugh score: subclassifying the intermediate stage (Barcelona Clinic Liver Cancer stage B).	Jpn J Radiol
30	Haruyuki Takaki	Department of Radiology, Mie University School of Medicine	Hepatic arterial infusion chemotherapy with fine-powder cisplatin and iodized-oil suspension in patients with intermediate-stage and advanced-stage (Barcelona Clinic Liver Cancer stage-B or stage-C) hepatocellular carcinoma: multicenter phase-II clinical study.	Int. J. Clin. Oncol.
31	Hiroshi Sakaida	Department of Otorhinolaryngology-Head and Neck Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Cochlear Fistula as a Late Consequence of Tympanomastoidectomy.	Otol. Neurotol.
32	Sugimoto M	Department of Ophthalmology, Mie University Graduate School of Medicine	Ultra-WideField fluorescein angiography by oral administration of fluorescein.	Acta Ophthalmol
33	Kato K	Department of Ophthalmology, Mie University School of Medicine	Histopathological examination of Acanthamoeba sclerokeratitis.	Clin Ophthalmol
34	Kato K	Department of Ophthalmology Mie University School of Medicine	Probing of congenital nasolacrimal duct obstruction with dacryoendoscope.	Clin Ophthalmol

35	Matsui Y	Department of Ophthalmology, Mie University Graduate School of Medicine	Changes in outer retinal microstructures during six month period in eyes with acute zonal occult outer retinopathy-complex.	PLoS One
36	Sasoh M	Department of Ophthalmology, Mie University School of Medicine	Bilateral retinal detachment in Werner syndrome.	Retin Cases Brief Rep
37	Tsukitome H	Department of Ophthalmology, Mie University School of Medicine	Changes in angle of optic nerve and angle of ocular orbit with increasing age in Japanese children.	Br J Ophthalmol
38	Suzuki K	Department of Hematology and Oncology, Mie University Graduate School of Medicine	Alcoholic ketoacidosis that developed with a hypoglycemic attack after eating a high-fat meal.	Acute Medicine & Surgery.
39	Yoshiki Yamashita	Departments of Hematology and Oncology, Mie University Hospital and Mie University Graduate School of Medicine	Elevated plasma levels of soluble platelet glycoprotein VI (GPVI) in patients with thrombotic microangiopathy.	Thromb. Res.
40	Kazuko Ino	Department of Hematology and Oncology, Mie University Graduate School of Medicine	Monocytes infiltrate the pancreas via the MCP-1/CCR2 pathway and differentiate into stellate cells.	PLoS ONE
41	Yoshiki Yamashita	Departments of Hematology and Oncology, Mie University Graduate School of Medicine	Elevated fibrin-related markers in patients with malignant diseases frequently associated with disseminated intravascular coagulation and venous thromboembolism.	Intern. Med.
42	Masahiro Masuya	Department of Hematology and Oncology, Mie University Graduate School of Medicine	Splenectomy increases the number of circulating hematopoietic stem/progenitor cells in patients with hepatitis C virus-associated liver cirrhosis.	Hepatol. Res.
43	Motoko Yamaguchi	Department of Hematology and Oncology, Mie University Graduate School of Medicine	Prognostic biomarkers in patients with localized natural killer/T-cell lymphoma treated with concurrent chemoradiotherapy.	Cancer Sci.

44	Takumi Aota	Department of Hematology and Oncology, Mie University Graduate School of Medicine	Elevated soluble platelet glycoprotein VI is a useful marker for DVT in postoperative patients treated with edoxaban.	Int. J. Hematol.
45	Kenichiro Nishikawa	Department of Hematology and Oncology, Mie University Graduate School of Medicine	Interleukin-17 induces an atypical M2-like macrophage subpopulation that regulates intestinal inflammation.	PLoS ONE
46	Takeshi Matsumoto	Blood Transfusion Service, Mie University Hospital	Analysis of patients with atypical hemolytic uremic syndrome treated at the Mie University Hospital: concentration of C3 p. I1157T mutation.	Int. J. Hematol.
47	Takaya Shiozaki	Department of Obstetrics and Gynecology, Mie University Graduate School of Medicine	Does positive peritoneal cytology not affect the prognosis for stage I uterine endometrial cancer?: the remaining controversy and review of the literature.	Int. J. Gynecol. Cancer
48	Maizawa T	Advanced Reproductive Medical Center	Possible selection of viable human blastocysts after vitrification by monitoring morphological changes.	J Assist Reprod Genet
49	Kenichi Hiramoto	Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Department of Clinical Sciences, Medical Life Science, Mie University Graduate School of Medicine	Role of phosphodiesterase 2 in growth and invasion of human malignant melanoma cells.	Cell. Signal.
50	Hideharu Kato	Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Division of Reparative and Regenerative Medicine, Institute of Medical Science, Mie University Graduate School of Medicine	A case of florid dysplasia associated with chronic sclerosing osteomyelitis requiring segmental resection	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology

51	Kenya Okumura	Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Division of Reparative and Regenerative Medicine, Institute of Medical Science, Mie University Graduate School of Medicine	A case of oral herpes zoster associated with meningoencephalitis and tooth exfoliation by alveolar bone resorption	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology
52	Kokoro Nagata	Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Division of Reparative and Regenerative Medicine, Institute of Medical Science, Mie University Graduate School of Medicine	A case of pulmonary pleomorphic carcinoma with gingival metastasis and a review of the literature	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology
53	Yoshihide Mitani	Department of Pediatrics, Mie University Graduate School of Medicine	Circumstances and outcomes of out-of-hospital cardiac arrest in elementary and middle school students in the era of public-access defibrillation.	Circ. J.
54	Shotaro Iwamoto	Department of Pediatrics, Mie University Graduate School of Medicine	Anaphylactic transfusion reaction in homozygous haptoglobin deficiency detected by CD203c expression on basophils.	Pediatr Blood Cancer
55	Hidemi Toyoda	Department of Pediatrics, Mie University Graduate School of Medicine	Polycythemia and paraganglioma with a novel somatic HIF2A mutation in a male.	Pediatrics
56	Tadashi Iwasa	Department of Pediatrics, Mie University Graduate School of Medicine	10-year-old girl with life-threatening idiopathic systemic capillary leak syndrome: a case report.	BMC Pediatr
57	Tsutomu Shinohara	Department of Pediatrics, Mie University Graduate School of Medicine	Macitentan reverses early obstructive pulmonary vasculopathy in rats: Early intervention in overcoming the survivin-mediated resistance to apoptosis.	Am. J. Physiol. Lung Cell Mol. Physiol.
58	Shankar Vipin	Department of Pediatrics, Mie University Graduate School of Medicine	Mesenchymal stromal cell secretome up-regulates 47 kDa CXCR4 expression, and induce invasiveness in neuroblastoma cell lines	PloS one

59	Otsuki Shoichiro	Department of Pediatrics, Mie University Graduate School of Medicine	Potential contribution of phenotypically modulated smooth muscle cells and related inflammation in the development of experimental obstructive pulmonary vasculopathy in rats	PloS one
60	Uraki S	First Department of Internal Medicine, Mie University School of Medicine	Human $\beta$ -defensin-3 inhibits migration of colon cancer cells via downregulation of metastasis-associated 1 family, member 2 expression.	Int J Oncol
61	Tanaka K	Department of Endoscopic Medicine, Mie University Hospital	Large polypoid lymphoid follicles in the stomach causing anemia.	Endoscopy
62	Tameda M	First Department of Internal Medicine, Mie University School of Medicine	Collagen triple helix repeat containing 1 is overexpressed in hepatocellular carcinoma and promotes cell proliferation and motility.	Int J Oncol
63	Katsurahara M	Department of Endoscopic Medicine, Mie University Graduate School of Medicine	Acute colonic intramural hematoma: a rare complication of colonoscopy.	Endoscopy
64	Inoue H	Department of Gastroenterology and Hepatology, Mie University Graduate School of Medicine	Pancreatic hamartoma: a rare cause of obstructive jaundice.	Endoscopy
65	Hamada Y	Department of Endoscopic Medicine, Mie University Hospital	Pyogenic granuloma mimicking a colon cancer.	Endoscopy
66	Iwasa M	1Department of Gastroenterology and Hepatology, Mie University Graduate School of Medicine	Patients with hyponatremic cirrhosis have low-grade cerebral edema and poor quality-of-life.	Ann Hepatol
67	Katsurahara M	Department of Endoscopic Medicine, Mie University Graduate School of Medicine	Colonic xanthoma: a rare non-neoplastic polypoid lesion.	Endoscopy

68	Inagaki Y	Department of Internal Medicine, Mie University Graduate School of Medicine	The long-term effects of splenectomy and subsequent interferon therapy in patients with HCV-related liver cirrhosis.	Mol Med Rep
69	Inoue H	Department of Gastroenterology and Hepatology, Mie University Graduate School of Medicine	Spontaneous fistulization of infected walled-off pancreatic necrosis into the duodenum and colon.	Dig Endosc
70	Katsurahara M	1Department of Endoscopic Medicine, Mie University Graduate School of Medicine	Duodenal metastasis from subcutaneous angiosarcoma of the head: rare cause of obscure gastrointestinal bleeding.	Dig Endosc
71	Inagaki Y	Department of Internal Medicine, Mie University Graduate School of Medicine	Gastric metastasis of hepatocellular carcinoma presenting as hematemesis.	Clin Gastroenterol Hepatol
72	Tameda M	Department of Internal Medicine, Mie University Graduate School of Medicine	Isolated metastasis of hepatocellular carcinoma in the right ventricle.	Clin Gastroenterol Hepatol
73	Iwasa M	Department of Gastroenterology and Hepatology, Mie University Graduate School of Medicine	Evaluation and prognosis of sarcopenia using impedance analysis in patients with liver cirrhosis.	Hepatology Resarch
74	Inoue H	Department of Gastroenterology and Hepatology, Mie University Graduate School of Medicine	Intraductal papillary mucinous neoplasm presenting as hemosuccus pancreaticus.	Clin Gastroenterol Hepatol
75	Masato Shiba	Department of Neurosurgery, Mie University Graduate School of Medicine	Tenascin-C causes neuronal apoptosis after subarachnoid hemorrhage in rats.	Transl Stroke Res
76	Kazuhide Hamada	Department of Neurosurgery, Mie University Graduate School of Medicine	Gellan sulfate core platinum coil with tenascin-C promotes intra-aneurysmal organization in rats.	Transl Stroke Res



77	Masaki Mizuno	Department of Neurosurgery, Mie University Graduate School of Medicine.	Midline lumbar fusion with cortical bone trajectory screw.	Neurol. Med. Chir. (Tokyo)
78	Tomohiko Kurata	Department of Clinical Pharmacy and Biopharmaceutics, Mie University Graduate School of Medicine.	Characteristics of pemetrexed transport by renal basolateral organic anion transporter hOAT3.	Drug Metab. Pharmacokinet.
79	Kenji Ikemura	Department of Pharmacy, Mie University Hospital	MicroRNAs as regulators of drug transporters, drug-metabolizing enzymes, and tight junctions: implication for intestinal barrier function.	Pharmacol. Ther.
80	Takuya Iwamoto	Department of Pharmacy, Mie University Hospital, Mie University Graduate School of Medicine	Carboplatin-induced severe hypersensitivity reaction: role of IgE-dependent basophil activation and Fc $\epsilon$ RI.	Cancer Sci.
81	Shiro Nakamori	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine	Myocardial perfusion reserve is impaired in patients with chronic obstructive pulmonary disease: a comparison to current smokers	Eur Heart J Cardiovasc Imaging
82	Yoshito Ogiwara	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine	Utility of right ventricular Tei-index for assessing disease severity and determining response to treatment in patients with pulmonary arterial hypertension	J Cardiol
83	Kazuki Oosugi	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine	Hemodynamic and pathophysiological characteristics of intradialytic blood pressure elevation in patients with end-stage renal disease	Hypertens Res
84	Mashio Nakamura	Department of Clinical Cardiovascular Research, Graduate School of Medicine	Current venous thromboembolism management and outcomes in Japan	Circ J
85	Kaoru Dohi	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine	Novel diuretic strategies for the treatment of heart failure in Japan	Circ J

86	Norikazu Yamada	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine	Operability Assessment and Postoperative Outcome in Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension	Circ J
87	Kaoru Dohi	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine	Immediate and Short-Term Use of Tolvaptan for Acute Decompensated Heart Failure	Circ J
88	Akimasa Matsuda	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine	Early and long-term outcomes of venous stent implantation for iliac venous stenosis after catheter-directed thrombolysis for acute deep vein thrombosis	Circ J
89	Naoki Fujimoto	Department of Molecular and Laboratory Medicine, Mie University Graduate School of Medicine	Bilateral giant coronary aneurysms in a 40-year-old male with Noonan syndrome caused by a KRAS germline mutation	Int J Cardiol
90	Kaoru Dohi	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine	Arrhythmogenic right ventricular cardiomyopathy in a 20-year-old woman with systemic sclerosis.	Intern Med
91	Kan Katayama	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine	Searching for a treatment for Alport syndrome using mouse models.	World J Nephrol
92	Tetsushiro Takeuchi	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine	Tacrolimus-induced Left Ventricular Apical Hypertrophy in a Patient with Post-allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation	Int J Cardiol
93	Tetsushiro Takeuchi	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine	Effects of Cardiac Resynchronization Therapy on Left Ventricular Mechanical Dyssynchrony Induced by Right Ventricular Pacing in a Patient with Heart Failure and Preserved Ejection Fraction	Int J Cardiol
94	Takayasu Ito	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine	Effects of Aliskiren on Blood Pressure and Humoral Factors in Hypertensive Hemodialysis Patients Previously on Angiotensin II Receptor Antagonists	Clin Exp Hypertens

95	Satoshi Fujita	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine	Fulminant Myocarditis in a Patient with Severe Coronary Artery Disease	J Cardiol Case
96	Akihiro Shindo	Department of Neurology, Mie University Graduate School of Medicine	Clinical features and underlying causes of cerebral venous thrombosis in Japanese patients.	Int. J. Hematol.
97	Asako Tamura	Department of Neurology, Mie University Graduate School of Medicine.	Posterior-predominant leukoencephalopathy which was caused by methylenetetrahydrofolate reductase deficiency and successfully treated with folic acid.	Rinsho Shinkeigaku
98	Masayuki Satoh	Department of Dementia Prevention and Therapeutics, Graduate School of Medicine	The effects of physical exercise with music on cognitive function of elderly people: Mihama-Kiho project.	PLoS ONE
99	Atsushi Niwa	Department of Neurology, Mie University School of Medicine	Perivascular panencephalitis with relapsing polychondritis: an autopsy case report and review of previous cases.	Intern. Med.
100	Akihiro Shindo	Department of Neurology, Mie University Graduate School of Medicine	Inflammatory biomarkers in atherosclerosis: pentraxin 3 can become a novel marker of plaque vulnerability.	PLoS ONE
101	Kenichiro Yata	Department of Neurology, Mie University Graduate School of Medicine	In vivo imaging of the mouse neurovascular unit under chronic cerebral hypoperfusion.	Stroke
102	Kouji Fukuyama	Department of Neuropsychiatry, Division of Neuroscience, Graduate School of Medicine	Zonisamide regulates basal ganglia transmission via astroglial kynurenine pathway.	Neuropharmacology
103	Yoshiaki Konishi	Department of Psychiatry, Division of Neuroscience, Graduate School of Medicine	Gene × gene × gender interaction of BDNF and COMT genotypes associated with panic disorder.	Prog. Neuropsychopharmacol. Biol. Psychiatry

104	Yoshiaki Konishi	Department of Psychiatry, Division of Neuroscience, Graduate School of Medicine	Gender-specific association between the COMT Val158Met polymorphism and openness to experience in panic disorder patients.	Neuropsychobiology
105	Hideo Wada	Department of Molecular and Laboratory Medicine	Disseminated intravascular coagulation: testing and diagnosis.	Clin. Chim. Acta
106	Masahiko Tameda	First Department of Internal Medicine	Resveratrol sensitizes HepG2 cells to TRAIL-induced apoptosis.	Anticancer Drugs
107	Hideo Wada	Department of Molecular and Laboratory Medicine	Natural history of thrombotic thrombocytopenic purpura and hemolytic uremic syndrome.	Semin. Thromb. Hemost.
108	Hideo Wada	Department of Molecular and Laboratory Medicine	Diagnosis and treatment of disseminated intravascular coagulation (DIC) according to four DIC guidelines.	J Intensive Care
109	Koji Tanaka	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Pyoderma gangrenosum occurring at the peri-ileal pouch-anal anastomosis in a patient with ulcerative colitis: report of a case.	Surg. Today
110	Toshimitsu Araki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Institute of Life Sciences Mie University Graduate School of Medicine	Impact of postoperative infliximab maintenance therapy on preventing the surgical recurrence of Crohn's disease: a single-center paired case-control study.	Surg. Today
111	Yasuhiro Inoue	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Institute of Life Sciences, Mie University Graduate School of Medicine	Chemoradiotherapy followed by restorative proctocolectomy with partial intersphincteric resection for advanced rectal cancer associated with ulcerative colitis: report of a case.	Surg. Today

112	Minako Kobayashi	Department of Innovative Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Risk factors for anastomotic leakage and favorable antimicrobial treatment as empirical therapy for intra-abdominal infection in patients undergoing colorectal surgery.	Surg. Today
113	Koji Tanaka	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Trehalose does not affect the functions of human neutrophils in vitro.	Surg. Today
114	Yasuhiko Mohri	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Correlation between preoperative systemic inflammation and postoperative infection in patients with gastrointestinal cancer: a multicenter study.	Surg. Today
115	Yasuhiro Inoue	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine	Advances and directions in chemotherapy using implantable port systems for colorectal cancer: a historical review.	Surg. Today
116	Junichiro Hiro	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Mie University Graduate School of Medicine	Single-port laparoscopic management of adhesive small bowel obstruction.	Surg. Today
117	Toshimitsu Araki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Mie University Graduate School of Medicine	Risk factors for surgical site infection in Japanese patients with ulcerative colitis: a multicenter prospective study.	Surg. Today
118	Toshimitsu Araki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Redo Ileal pouch-anal anastomosis combined with anti-TNF- $\alpha$ maintenance therapy for Crohn's disease with pelvic fistula: report of two cases.	Surg. Today
119	Yuhki Koike	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Infantile Crohn's disease is one of the risk factors for catheter-related bloodstream infection.	Pediatr Int

120	Susumu Saigusa	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Lack of M30 expression correlates with factors reflecting tumor progression in rectal cancer with preoperative chemoradiotherapy.	Mol Clin Oncol
121	Koji Tanaka	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Brain-derived neurotrophic factor (BDNF)-induced tropomyosin-related kinase B (TrkB) signaling is a potential therapeutic target for peritoneal carcinomatosis arising from colorectal cancer.	PLoS ONE
122	Susumu Saigusa	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Low serum interleukin-13 levels correlate with poorer prognoses for colorectal cancer patients.	Int Surg
123	K Tanaka	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Tropomyosin-related receptor kinase B at the invasive front and tumour cell dedifferentiation in gastric cancer.	Br. J. Cancer
124	Keiichi Uchida	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Segmental distribution in refractory ulcerative colitis: a histological evaluation in pediatric and adult patients who underwent proctocolectomy.	Inflamm. Bowel Dis.
125	Yasuhiko Mohri	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Identification of prognostic factors and surgical indications for metastatic gastric cancer.	BMC Cancer
126	Koji Tanaka	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	In vivo optical imaging of cancer metastasis using multiphoton microscopy: a short review.	Am J Transl Res
127	Mikio Kawamura	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine	Clinical significance of tartrate-resistant acid phosphatase type-5 expression in human gastric cancer.	Anticancer Res.
128	Yoshito Ishino	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Preoperative C-reactive protein and operative blood loss predict poor prognosis in patients with gastric cancer after laparoscopy-assisted gastrectomy.	Asian J Endosc Surg

129	Toshimitsu Araki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Mie University Graduate School of Medicine	Functional and manometric outcomes after redo-ileal pouch anal anastomosis in patients with ulcerative colitis.	Dig Surg
130	Takahito Kitajima	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Vasohibin-1 increases the malignant potential of colorectal cancer and is a biomarker of poor prognosis.	Anticancer Res.
131	Yasuhiko Mohri	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Short- and long-term outcomes of laparoscopic gastrectomy in elderly patients with gastric cancer.	Surg Endosc
132	Yuji Toiyama	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Graduate School of Medicine	Elevated serum angiopoietin-like protein 2 correlates with the metastatic properties of colorectal cancer: a serum biomarker for early diagnosis and recurrence.	Clin. Cancer Res.
133	Yuhki Koike	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Dynamic pathology for circulating free DNA in a dextran sodium sulfate colitis mouse model.	Pediatr. Surg. Int.
134	Koji Tanaka	Departments of Gastrointestinal and Paediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	In vivo characterization of neutrophil extracellular traps in various organs of a murine sepsis model.	PLoS ONE
135	Hiroyuki Fujikawa	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Mie University Graduate School of Medicine	Sphincter-saving resection of rectal hemangioma based on Doppler transrectal ultrasonography findings: report of a case.	Int Surg

136	Aya Kawamoto	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Mie University Graduate School of Medicine	Puborectal sling interposition combined with seton drainage for pouch-vaginal fistula after rectal cancer surgery with colonic j pouch-anal reconstruction: report of a case.	Int Surg
137	Yuji Toiyama	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Graduate School of Medicine	Conversion Therapy Using mFOLFOX6 With Panitumumab for Unresectable Liver Metastases From Multiple Colorectal Cancers With Familial Adenomatous Polyposis.	Int Surg
138	Koji Tanaka	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Molecular characteristics of residual cancer and stromal cells after chemoradiotherapy for gastric cancer: report of four cases.	Clin Case Rep
139	Akihiro Tanemura	Department of Hepatobiliary Pancreatic and Transplant Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Margin-negative limited resection of metastatic pancreatic tumors from rectal cancer preoperatively diagnosed by endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration biopsies: report of two cases.	Surg. Today
140	Yasuo Ohkura	Department of Hepatobiliary-Pancreatic and Transplant Surgery, Mie University School of Medicine	Benefit of technetium-99m galactosyl human serum albumin scintigraphy instead of indocyanine green test in patients scheduled for hepatectomy.	Hepatol. Res.
141	Yu Nobuoka	Department of Hepatobiliary-Pancreatic and Transplant Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Prolonged thrombocytopenia after living donor liver transplantation is a strong prognostic predictor irrespective of splenectomy: the significance of ADAMTS13 and graft function [corrected].	Int. J. Hematol.
142	Motoyuki Kobayashi	From the Departments of Hepatobiliary Pancreatic and Transplant Surgery, Mie University School of Medicine	Gemcitabine-based chemoradiotherapy followed by surgery for borderline resectable and locally unresectable pancreatic ductal adenocarcinoma: significance of the CA19-9 reduction rate and intratumoral human equilibrative nucleoside transporter 1 expression.	Pancreas



143	Shugo Mizuno	Department of Hepatobiliary-Pancreatic and Transplant Surgery, Mie University School of Medicine	Anterior approach to the superior mesenteric artery by using nerve plexus hanging maneuver for borderline resectable pancreatic head carcinoma.	J. Gastrointest. Surg.
144	Yoshihiro Okuda	Department of Hepatobiliary-Pancreatic and Transplant Surgery, Mie University School of Medicine	Clinicopathological factors affecting survival and recurrence after initial hepatectomy in non-B non-C hepatocellular carcinoma patients with comparison to hepatitis B or C virus.	Biomed Res Int
145	H Iwata	Department of Hepatobiliary Pancreatic and Transplant Surgery, Mie University School of Medicine	Negative prognostic impact of renal replacement therapy in adult living-donor liver transplant recipients: preoperative recipient condition and donor factors.	Transplant. Proc.
146	K Fujinaga	Department of Hepatobiliary Pancreatic and Transplant Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Hypertension and hepatitis C virus infection are strong risk factors for developing late renal dysfunction after living donor liver transplantation: significance of renal biopsy.	Transplant. Proc.
147	S Mizuno	Department of Hepatobiliary-Pancreatic and Transplant Surgery, Mie University School of Medicine	Biliary complications in 108 consecutive recipients with duct-to-duct biliary reconstruction in living-donor liver transplantation.	Transplant. Proc.
148	A Tanemura	Department of Hepatobiliary Pancreatic and Transplant Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Thrombomodulin administration attenuates ischemia-reperfusion injury of the remnant liver after 70% hepatectomy in rats: simulated model of small-for-size graft in living donor liver transplantation.	Transplant. Proc.
149	Rie Sato	Department of Hepatobiliary Pancreatic and Transplant Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Paradoxical impact of the remnant pancreatic volume and infectious complications on the development of nonalcoholic fatty liver disease after pancreaticoduodenectomy.	J Hepatobiliary Pancreat Sci

150	Ryosuke Desaki	Department of Hepatobiliary Pancreatic and Transplant Surgery, School of Medicine,	A new surgical technique of pancreaticoduodenectomy with splenic artery resection for ductal adenocarcinoma of the pancreatic head and/or body invading splenic artery: impact of the balance between surgical radicality and QOL to avoid total pancreatectomy.	Biomed Res Int
151	Masanobu Usui	Department of Hepatobiliary Pancreatic and Transplant Surgery, Mie University School of Medicine	Laparoscopy assisted middle-segment-preserving pancreatectomy for multiple pancreatic neuroendocrine tumors: report of a case.	Asian J Endosc Surg
152	Mizuno S	Department of Hepatobiliary Pancreatic and Transplant Surgery, Mie University School of Medicine	Transdiaphragmatic extrapericardial approach of the inferior vena cava.	J Am Coll Surg.
153	Shugo Mizuno	Department of Hepatobiliary Pancreatic and Transplant Surgery, Mie University School of Medicine	Incarcerated left diaphragmatic hernia following left hepatectomy for living donor liver transplantation.	Transpl Int.
154	Aki Fukuda	Department of Orthopaedic Surgery, Mie University Faculty of Medicine	Arthroscopically assisted minimally invasive plate osteosynthesis for posterior fracture-dislocation of the shoulder.	J Orthop Sci
155	Shinya Okita	Department of Orthopaedic Surgery, Mie University, Graduate School of Medicine	Failure analysis of sandwich-type ceramic-on-ceramic hip joints: A spectroscopic investigation into the role of the polyethylene shell component.	J Mech Behav Biomed Mater
156	Tomoki Nakamura	Department of Orthopaedic Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Clinical outcomes of Kyocera Modular Limb Salvage system after resection of bone sarcoma of the distal part of the femur: the Japanese Musculoskeletal Oncology Group study.	Int Orthop
157	Zhuo Wang	Department of Spinal Surgery and Medical Engineering, Mie University Graduate School of Medicine	Overactive bladder in cervical spondylotic myelopathy.	J Orthop Sci

158	Hiroki Wakabayashi	Department of Orthopaedic Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Polyarticular late infection of total joint arthroplasties in a patient with rheumatoid arthritis treated with anti-interleukin-6 therapy.	Rheumatology (Oxford)
159	Akinobu Nishimura	Department of Orthopaedic Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Prevalence of hallux valgus and risk factors among Japanese community dwellers.	J Orthop Sci
160	Akinobu Nishimura	Department of Orthopaedic Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Osteoporosis, vertebral fractures and mortality in a Japanese rural community.	Mod Rheumatol
161	Akinobu Nishimura	Department of Orthopaedic Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Osteoporosis, vertebral fractures and mortality in a Japanese rural community.	Mod Rheumatol
162	Thein Aung Kyaw	Department of Spinal Surgery and Medical Engineering, Mie University Graduate School of Medicine	Biomechanical effects of pedicle screw fixation on adjacent segments.	Eur J Orthop Surg Traumatol
163	Tomoki Nakamura	Department of Orthopaedic Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Role of high-sensitivity C-reactive protein in the differentiation of benign and malignant soft tissue tumors.	Anticancer Res.
164	Koji Akeda	From the Departments of Orthopaedic Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Prevalence and countermeasures for venous thromboembolic diseases associated with spinal surgery: a follow-up study of an institutional protocol in 209 patients.	Spine
165	Zaw Min Han	Department of Spinal Surgery and Medical Engineering, Mie University Graduate School of Medicine	Adult traumatic atlantoaxial rotatory fixation: a case report.	Case Rep Orthop
166	Masahiro Hasegawa	Department of Orthopaedic Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Longitudinal magnetic resonance imaging of pseudotumors following metal-on-metal total hip arthroplasty.	J Arthroplasty

167	Tomoki Nakamura	Department of Orthopaedic Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Determination of the LD50 of acridine orange via intravenous administration in mice in preparation for clinical application to cancer therapy.	In Vivo
168	Okugawa Y	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Mie University Graduate School of Medicine	Metastasis-associated long non-coding RNA drives gastric cancer development and promotes peritoneal metastasis.	Carcinogenesis
169	Toiyama Y	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Graduate School of Medicine	Serum miR-200c is a novel prognostic and metastasis-predictive biomarker in patients with colorectal cancer.	Ann Surg
170	Koike Y	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Mie University Graduate School of Medicine	Intraluminal appendiceal fluid is a predictive factor for recurrent appendicitis after initial successful non-operative management of uncomplicated	J Pediatr Surg.
171	Saigusa S	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery	Intussusception of rectosigmoid colon cancer mimicking a pedunculated tumor.	Case Rep Surg
172	Saigusa S	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery	Unawareness of a Prolonged Retained Capsule Endoscopy: The Importance of Careful Follow-Up and Cooperation between Medical Institutions.	Case Rep Gastrointest Med.
173	Susumu Saigusa	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Impact of extracapsular lymph node involvement on tumor progression in esophageal squamous cell carcinoma after neoadjuvant therapy and effects on lymph nodes induced by chemotherapy and chemoradiotherapy.	Esophagus
174	Otake K	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Staged management of pseudoexstrophy with omphalocele and wide pubic diastasis .	JPS case reports.

175	Toiyama Y	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Graduate School of Medicine	DNA methylation and microRNA biomarkers for noninvasive detection of gastric and colorectal cancer.	Biochem Biophys Res Commun.
176	Inoue Y	Departments of Gastrointestinal and Paediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Consideration of therapeutic approach to advanced colorectal cancer in elderly patients.	International Journal of Cancer Therapy and Oncology
177	Okugawa Y	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Graduate School of Medicine	An update on microRNAs as colorectal cancer biomarkers: where are we and what's next?	Expert Rev Mol Diagn
178	Kawamura M	Departments of Gastrointestinal and Paediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Can Circulating MicroRNAs Become the Test of Choice for Colorectal Cancer?	Current colorectal cancer report
179	Yasuhiro Inoue	Departments of Gastrointestinal and Paediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine	Scientific Notes; Consideration of therapeutic approach to advanced colorectal cancer in elderly patients.	Int J Cancer Ther Oncol
180	Toiyama Y	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Graduate School of Medicine	Response.	J Natl Cancer Inst.

計 180

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- (注) 2 報告の対象とするものは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実体上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- (注) 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- (注) 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

## (2) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	小川 朋子	乳腺センター	【乳癌治療の新展開】外科療法 乳房温存手術の新展開	クリニシアン (0387-1541) 61巻9-10 Page957-961
2	伊藤みのり, 他	乳腺センター	再発を繰り返した乳房デスマイド型線維腫症の1例	乳癌の臨床 29 (4) Page397-403
3	小川 朋子	乳腺センター	【乳癌に対するoncoplastic surgery】 Oncoplastic surgeryを考慮した乳癌手術 乳房部分切除	外科 (0016- 593X) 76巻9 号 Page956- 962
4	小川 朋子	乳腺センター	【乳癌BOOK2014】外科治療 乳房全摘術の創意工夫	Rad Fan (1348-3498) 12巻8号 Page104-107
5	太田 覚史, 山田 典一, 松田 明正, 荻原 義人, 石倉 健, 中村 真潮, 伊藤 正明	循環器内科学	当院における慢性血栓塞栓性肺高血圧症の臨床経過別特徴	心臓 46: 980- 982, 2014
6	藤田 聡, 藤井英太郎, 中村 真潮, 伊藤 正明	循環器内科学	左冠尖と右室流出路からの挟み撃ちにて根治に成功した特発性心室頻拍の1例	心臓 46 suppl 3: 150-153, 2014
7	田辺 正樹, 中村 明子, 新居 晶恵, 荒川 宜親	医療安全・感染管理部	海外帰国患者より多剤耐性アシネトバクターおよび多剤耐性緑膿菌が同時に検出された事例に関する報告	IASR 35: 244- 246, 2014
8	大西 勝也, 中嶋 寛, 土肥 薫, 藤井英太郎, 中村 真潮, 大西 正文, 伊藤 正明	循環器内科学	心房細動を伴う心不全患者に対するリバーロキサバン(イグザレルトOR)の安全性の検討 Assessment of Safety of Rivaroxaban (Xarelto) in Heart Failure Patients with Atrial Fibrillation	Prog Med 34: 133-138, 2014

9	岩田 加壽子	栄養管理部 栄養指導管理室	糖尿病のサルコペニア肥満の発症頻度と加齢との関連	栄養と評価. Vol132. No. 1. 20-23.
10	小林 茂樹	健診センター	大学病院健診センターとしてあるべき形今後の日本に必要な検診とは	安の津医報
11	小林 茂樹, 小倉真由美, 石松里美, 須澤 尚久	健診センター	特集：今、PETの稼働率を高めるためには 大学病院健診センターにおけるPET/CT健診戦略	新医療
12	中谷 中	中央検査部	遺伝子解析による体質診断の科学的評価	Bio Clinica 29:100-103
13	中谷 中	中央検査部	診療における遺伝情報の取り扱いについて	臨床病理 62:1122-1127
14	中谷 中	中央検査部	アカデミアにおけるバイオマーカー検査	臨床病理レビュー 153 号:71-75
15	中谷 中	中央検査部	コンパニオン診断の実践に求められる検査体制	臨床検査 58: 933-938
16	宮村 耕一, 岡本真一郎, 薄井 紀子, 日野 雅之, 赤司 浩一, 中世古知昭, 高橋 直人, 中谷 中, 高橋 啓太, 登 勉, 直江 知樹	中央検査部	キャリブレーターによる国際標準値変換を可能とするMajor BCR-ABL測定キットの臨床性能評価	臨床血液 58:534-540

17	中谷 中, 望木 郁代	中央検査部	先端技術と検査医学研究 ゲノム解析技術を臨床検査に	臨床病理 63:377-383
18	杉本 和史, 竹井 謙之	中央検査部	ウイルス肝炎に対する代替・補助療法 増悪因子としての鉄と瀉血療法	Medicina 52:333-335
19	佐藤 正之	認知症センター	ラヴェル：脳に閉じ込められた音楽	神経内科、 82(2)：187- 194, 2015.
20	佐藤 正之, 冨本 秀和	認知症センター	Binswanger型白質脳症の病態	日本臨床 72 (増刊号7) 最新臨床脳卒中 学：最新の診断 と治療：614- 618, 2014.
21	佐藤 正之	認知症センター	神経回復における音楽の意義	Modern Physician、 34(7)：827- 831, 2014.
22	佐藤 正之	認知症センター	血管性認知症の特徴と治療	臨床老年看護、 7(3)：14-22, 2014.
23	佐藤 正之	認知症センター	認知症の非薬物療法の現状と未来	認知神経科学、 15(3)：207- 213, 2014.
24	前田 正幸	中央放射線部	前頭側頭葉変性症-画像診断の役割	臨床画像



25	石田 正樹	放射線診断科	1-c 新しい心機能指標で評価する CT・MRIで診る—何がわかるか	Heart View
26	石田 正樹	放射線診断科	M3IVB4 吸収補正を行わない150水心筋血流 PET/CTによる心筋血流定量評価は可能か	核医学
27	須澤 尚久	医学・看護教育センター	P1D2 肺腫瘍のFDG PET/CT検査における呼吸同期の効果	核医学
28	橋本 孝司	放射線診断科	OA-069 大動脈解離に対するTEVARの施行時期についての検討：良好なりモデリングを得るために	General Thoracic and Cardiovascular Surgery
29	山門 亨一郎	IVR科	血管塞栓用ビーズを用いた肝細胞癌治療の最前線	The Liver Cancer Journal
30	中塚 豊真	IVR科	腹部腫瘍に対するラジオ波焼灼・凍結療法	映像情報 Medical
31	山中 隆嗣	IVR科	腎癌に対する経皮的凍結療法	映像情報 Medical
32	北川 覚也	放射線診断科	2管球CTによる負荷心筋血流評価	映像情報 Medical

33	小西 喜昭, 谷井 久志	精神科神経科	パニック障害における発症年齢と人格特性の 関連性についての検討	不安障害研究
34	谷井 久志	精神科神経科	老年期精神医学への老年社会学の適応に関す る一考察	精神科
35	谷井 久志	精神科神経科	高齢者のうつ病と自殺予防について	Geriatric Medicine
36	谷井 久志	精神科神経科	悪性症候群、特集/向精神薬の副作用と対策 Update	臨床精神医学
37	谷井 久志	精神科神経科	多彩な症状を示した若年性の器質性精神障害 の一例	精神科
38	三枝 晋, 大井 正貴, 今岡 裕基, 志村 匡信, 井上 靖浩, 楠 正人	消化管・小児外科	腹腔鏡下手術を施行した回腸狭窄によるカプ セル内視鏡滞留の1例.	日本臨床外科学 会雑誌 75(5): 1320-1323
39	安田 裕美, 毛利 靖彦, 志村 匡信, 冲上 正人, 大井 正貴, 小林美奈子, 田中 光司, 楠 正人	消化管・小児外科	【特集 内視鏡外科手術と術後感染症】 胃癌に対する腹腔鏡下胃切除術がSSIに与える 影響.	日本外科感染症 学会雑誌 11(4): 295-301
40	荒木 俊光, 大北 喜基, 廣 純一郎, 問山 裕二, 大井 正貴, 田中 光司, 井上 靖浩, 毛利 靖彦, 楠 正人	消化管・小児外科	潰瘍性大腸炎に対する緊急手術術後重篤合併 症発生因子の検討.	日本腹部救急医 学会雑誌 35(4): 929-933

41	毛利 靖彦, 田中 光司, 楠 正人	消化管・小児外科	Ⅱ 胃癌の疫学 胃癌の疫学—国際比較—.	最新胃癌学 (増刊号1) 72: 47-53
42	毛利 靖彦, 田中 光司, 毛利 智美, 楠 正人	消化管・小児外科	Ⅷ 胃癌の検査・診断 バイオマーカープロテオミクス解析によるMIF、DJ-1.	最新胃癌学 (増刊号1) 72: 338-342
43	堀木 紀行, 十時 利明, 北出 卓, 葛原 正樹, 濱田 康彦, 田中 匡介, 荒木 俊光, 楠 正人, 竹井 謙之	消化管・小児外科	【炎症性腸疾患の画像診断modality】大腸内視鏡 拡大内視鏡.	INTEDTINE 18(2): 119-126
44	荒木 俊光, 大北 喜基, 藤川 裕之, 廣 純一郎, 問山 裕二, 田中 光司, 井上 靖浩, 内田 恵一, 毛利 靖彦, 楠 正人	消化管・小児外科	特集 ディベート 炎症性腸疾患の外科治療 I. 潰瘍性大腸炎に対する外科治療 2. 回腸肛門吻合VS回腸囊肛門管吻合 a) 回腸肛門吻合	外科 76(3): 240-244
45	井上 靖浩, 廣 純一郎, 問山 裕二, 楠 正人	消化管・小児外科	専門医必修! 消化器癌定型手術の標準手技アトラス 大腸癌 低位前方切除術.	手術 (臨時増刊号) 68(4): 623-628
46	内田 恵一, 楠 正人	消化管・小児外科	【手術のtips and pitfalls】小児における潰瘍性大腸炎に対する手術のtips and pitfalls.	日本外科学会雑誌 115(5): 283-6
47	藤川 裕之, 太田章比古, 楠 正人	消化管・小児外科	特集 炎症性腸疾患攻略の手引き これだけは知っておきたい! 炎症性腸疾患の治療—いままでの治療・これからの治療 各種薬剤をどのように使用していくのか? 【外科治療】肛門部病変の診断と治療 視診、触診は重要!	medicina 51(6): 1088-1091

48	大北 喜基, 荒木 俊光, 楠 正人	消化管・小児外科	【特集 I. 難治性潰瘍性大腸炎の治療戦略】潰瘍性大腸炎における術前治療と術後合併症の関連.	消化器内科 58(6): 759-764
49	大北 喜基, 荒木 俊光, 楠 正人	消化管・小児外科	【潰瘍性大腸炎とクローン病の治療・食事療法のすべて】潰瘍性大腸炎の外科治療.	Nutrition Care 7(7): 621-624
50	大北 喜基, 荒木 俊光, 楠 正人	消化管・小児外科	【潰瘍性大腸炎とクローン病の治療・食事療法のすべて】クローン病の外科治療.	Nutrition Care 7(7): 647-651
51	小林美奈子, 楠 正人	消化管・小児外科	特集 これだけは押さえておきたい 感染症診療の常識 4. 腹腔内感染症.	レジデント 7(8): 32-37
52	問山 裕二, 奥川 喜永, 田中 光司, 井上 靖浩, 毛利 靖彦, 楠 正人	消化管・小児外科	【大腸がんの早期発見を目指して】MicroRNAを用いた非侵襲的大腸癌診断の現状と展望.	日本消化器病学会雑誌 111(3): 482-494
53	問山 裕二, 楠 正人	消化管・小児外科	【特集 miRNAの実力: 診断から治療まで】3. miR-21による大腸がんの早期診断.	医薬ジャーナル 50(12): 73-79
54	小林美奈子, 楠 正人	消化管・小児外科	各論 14. その他 ~重炭酸治療、深部静脈血栓予防、ストレス潰瘍予防~.	肺血症(セプシス)救命治療の最前線. 竹末芳生編 (株) 医薬ジャーナル社 (東京、大阪) 209-212 (東京、大阪) 209-212.
55	廣 純一郎, 井上 靖浩, 毛利 靖彦, 楠 正人	消化管・小児外科	解剖生理からケアまで網羅! 必須事項がサクッとわかる 消化器外科看護まるごと図解ブック. 第1部 臓器別ケア編/第4章 大腸 1 大腸の全体構造. 2 大腸のはたらき. 3 頻度の多い病変部位.	消化器外科NURSING 2014春季増刊 編者 毛利靖彦、楠 正人 (株) メディカ出版 (東京) 68-73

56	川本 文, 井上 靖浩, 毛利 靖彦, 楠 正人	消化管・小児外科	解剖生理からケアまで網羅！必須事項がサクッとわかる 消化器外科看護まるごと図解ブック. 第2部 臓器別ケア編／第4章 大腸4 結腸切除術. 5 虫垂切除術. 6 直腸切除術. 7 ストーマ造設術. 8 ストーマケア. 9 痔核・痔瘻根治術.	消化器外科NURSING 2014春季増刊 編者 毛利靖彦、楠 正人 (株)メディカ出版(東京) 74-79
57	藤川 裕之, 井上 靖浩, 毛利 靖彦, 楠 正人	消化管・小児外科	解剖生理からケアまで網羅！必須事項がサクッとわかる 消化器外科看護まるごと図解ブック. 第3部 臓器別ケア編／第4章 大腸10 ドレーンの留置部位. 11 大腸手術後のドレーン管理. 12 腸瘻造設. 13 検査と手術以外の治療. 14 腸切除後の食事・栄養.	消化器外科NURSING 2014春季増刊 編者 毛利靖彦、楠 正人 (株)メディカ出版(東京) 80-86
58	大北 喜基, 井上 靖浩, 毛利 靖彦, 楠 正人	消化管・小児外科	解剖生理からケアまで網羅！必須事項がサクッとわかる 消化器外科看護まるごと図解ブック. 第4部 臓器別ケア編／第4章 大腸15 合併症：手術部位感染. 16 合併症：腸閉塞. 17 合併症：縫合不全. 18 合併症：排便機能低下. 19 合併症：排尿機能障害.	消化器外科NURSING 2014春季増刊 編者 毛利靖彦、楠 正人 (株)メディカ出版(東京) 87-92
59	小林 美奈子, 楠 正人	消化管・小児外科	消化管疾患 IV-13 痔疾患.	診療ガイドライン UP-TO-DATE 2014-2015 監修 門脇 孝、小室一成、宮地良樹 (株)メディカカルレビュー社(大阪・東京) 277-281
60	荒木 俊光, 大北 喜基, 藤川 裕之, 内田 恵一, 毛利 靖彦, 楠 正人	消化管・小児外科	2. 各診療の最適化とコツ 2-3 外治療の術式と適応 2-3-2 クロウン病.	現場のエキスパートが教える実践！IBD診療総編集 渡辺守 編著 久松理一、渡辺憲治 (株)医学出版(東京) 168-172
61	荒木 俊光, 井上 靖浩, 毛利 靖彦, 楠 正人	消化管・小児外科	第4章 がん患者の輸液・栄養療法の進め方とマネジメント II 合併症を有する際の輸液・栄養管理 3. ステロイド長期症例の周術期栄養管理.	がん患者の輸液・栄養療法 大村健二 編 (株)南山堂(東京) 166-172
62	小池 勇樹, 内田 恵一, 長野 由佳, 井出 正造, 橋本 清, 松下 航平, 大竹 耕平, 井上 幹大, 楠 正人	消化管・小児外科	ピンポイント小児医療 栄養療法 経静脈栄養の適応と問題点 bacterial translocationを含めて	小児内科(東京医学社) 46(8) : 1079-1084

63	荒木 俊光, 井上 幹大, 大北 喜基, 内田 恵一, 毛利 靖彦, 楠 正人	消化管・小児外科	手術 腸回転異常	臨床外科 (医学 書院) 69(9) : 1082- 1087
64	川本 文, 吉田 和枝, 井上 靖浩, 楠 正人	消化管・小児外科	消化器外科の臓器別術後アセスメント 大腸 手術後のアセスメント	消化器外科 Nursing (メ ディカ出版) 19(8) : 799-803
65	大竹 耕平, 内田 恵一, 井上 幹大, 小池 勇樹, 楠 正人	消化管・小児外科	【小児疾患診療のための病態生理1 改訂第5 版】 消化器疾患 Hirschsprung病	小児内科 (東京 医学社) 46増 刊 : 587-592
66	小池 勇樹, 内田 恵一, 松下 航平, 大竹 耕平, 井上 幹大, 楠 正人	消化管・小児外科	【最近の肥厚性幽門狭窄症】 遺伝子異常と幽 門筋の肥厚	小児外科 46(10) : 993-995
67	石永 一, 大 津 和弥, 宮 村 朋孝, 中 村 哲, 竹内 万彦	耳鼻咽喉・頭頸部外科	甲状腺癌縦隔リンパ節転移例の検討	日本気管食道科 学会会報 65巻 3号 Page241- 245, 2014. 06
68	中村 哲, 石 永 一, 大津 和弥, 宮村 朋孝, 竹内 万彦	耳鼻咽喉・頭頸部外科	顎下腺腫瘍の臨床ならびに病理学的検討	耳鼻咽喉科・頭 頸部外科 86巻 8号 Page665- 669, 2014. 07
69	石永 一, 中村 哲, 北野 雅子, 坂井田 寛, 大津 和弥, 竹内 万彦	耳鼻咽喉・頭頸部外科	誤嚥防止手術を行った重症心身障害児・者の6 例	日本気管食道科 学会会報 65巻 4号 Page330- 333, 2014. 08
70	宮村 朋孝, 竹内 万彦	耳鼻咽喉・頭頸部外科	甲状腺転移をきたした腎細胞癌の2症例	耳鼻咽喉科展望 57巻4号 Page194-197, 2014. 08

71	Al Salihi Mohammed Omar, 小林 正佳, 玉利 健悟, 宮村 朋孝, 竹内 万彦	耳鼻咽喉・頭頸部外科	TNF- $\alpha$ 阻害薬を用いた局所炎症制御による外傷性嗅覚障害後の嗅神経再生促進	日本味と匂学会誌 21巻3号 Page473-476, 2014. 12
72	坂井田 寛, 坂井田麻祐子, 北野 雅子, 柴田 丈夫, 小川 寛, 竹内 万彦	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Kartagener症候群の2症例	耳鼻咽喉科・頭頸部外科 86巻 13号 Page1121- 1125, 2014. 12
73	北野 雅子, 坂井田 寛, 竹内 万彦	耳鼻咽喉・頭頸部外科	ANCA関連血管炎に伴う難治性中耳炎症例の臨床的検討	Otology Japan 25巻1号 Page31-38, 2015. 02
74	濱口 宣子, 大津 和弥, 石永 一, 竹内 万彦	耳鼻咽喉・頭頸部外科	下咽頭に発生した神経鞘腫の1例	日本気管食道科学会会報 66巻 1号 Page25- 30, 2015. 2
75	松井佑梨世, 長谷川正裕, 若林 弘樹, 宮本 憲, 宮崎 晋一, 須藤 啓広	運動器外科学・腫瘍集 学治療学	TKA出血 人工膝関節全置換術におけるトラネキサム酸静脈内投与の効果の検討	日本人工関節学会誌(1345- 7608)
76	鈴木 良枝, 辻井 雅也, 須藤 啓広	運動器外科学・腫瘍集 学治療学	成人で上腕骨仮骨延長術を行ったApert症候群の1例 ADL獲得に向けて	日本肘関節学会雑誌(1349- 7324)
77	須藤 啓広, 西村 明展	運動器外科学・腫瘍集 学治療学	【骨粗鬆症診療の地域連携】 骨粗鬆症の疫学からみた地域社会	骨粗鬆症治療 (1347-572X)
78	長谷川正裕, 宮崎 晋一, 宮本 憲, 若林 弘樹, 須藤 啓広	運動器外科学・腫瘍集 学治療学	Ganzアプローチによるメタルオンメタルヒップリサーフェイシング	Hip Joint(0389- 3634)

79	直江 祐樹, 南端 翔多, 長谷川 正裕, 須藤 啓広	運動器外科学・腫瘍集 学治療学	人工股関節全置換術前後のTimed Up and Go testの変化について	Hip Joint(0389- 3634)
80	南端 翔多, 直江 祐樹, 長谷川 正裕, 須藤 啓広	運動器外科学・腫瘍集 学治療学	THAアプローチの違いによって術後筋力回復に 及ぼす影響	Hip Joint(0389- 3634)
81	明田 浩司, 加藤 俊宏, 松峯 昭彦, 長谷川 正裕, 若林 弘樹, 辻井 雅也, 浅沼 邦洋, 松原 孝夫, 西村 明展, 中村 知樹, 村田 耕一郎, 今西 隆夫, 森本 亮, 榊原 紀彦, 笠井 裕一, 須藤 啓広	運動器外科学・腫瘍集 学治療学	脊椎椎体骨折の追跡コホート調査 既存骨骨 折が新規骨折の発生様式に与える影響	Journal of Spine Research(1884- 7137)
82	西村 明展, 加藤 公, 須藤 啓広	運動器外科学・腫瘍集 学治療学	検診からわかる整形外科疾患 骨粗鬆症	臨床整形外科 (0557-0433)
83	西村 明展, 加藤 公, 福田 亜紀, 須藤 啓広	運動器外科学・腫瘍集 学治療学	超音波ガイド下腱内視鏡挿入の有用性	日本整形外科超 音波学会誌 (2187-7955)
84	須藤 啓広	運動器外科学・腫瘍集 学治療学	人工股関節全置換術後に発生するadverse reactions to metal debris(ARMD)	臨床整形外科 (0557-0433)
85	須藤 啓広	運動器外科学・腫瘍集 学治療学	【高齢者脆弱性骨折の予防と治療】 ガイドラ インからみた骨粗鬆症の診断, 予防と治療	整形外科(0030- 5901)



86	塚本 正, 榊明須笠 原 紀彦, 田 浩司, 藤 啓広, 井 裕一	運動器外科学・腫瘍集 学治療学	胸椎転移を生じた頭蓋内髄膜腫の1例	東海脊椎外科 (0913-476X)
87	萩 智仁, 明田 浩司, 榊原 紀彦, 笠井 裕一, 長谷川正裕, 須藤 啓広	運動器外科学・腫瘍集 学治療学	硬膜外麻酔カテーテル留置後に発症した脊髄 硬膜外血腫の2例	東海脊椎外科 (0913-476X)
88	萩 智仁, 辻井 雅也, 植村 剛, 國分 直樹, 横山 弘和, 須藤 啓広	運動器外科学・腫瘍集 学治療学	肩関節鏡視下滑膜切除の術直後に高K血症を認 めた透析患者の1例	中部日本整形外 科災害外科学会 雑誌(0008-9443)
89	西村 明展, 加藤 公, 福田 亜紀, 須藤 啓広	運動器外科学・腫瘍集 学治療学	踵骨骨嚢腫に対するリン酸カルシウム骨ペー スト充填術の切開法と鏡視下法との比較	JOSKAS(1884- 8842)
90	若林 弘樹, 西岡 洋右, 長谷川正裕, 南 有加里, 西岡久寿樹, 須藤 啓広	運動器外科学・腫瘍集 学治療学	問題点の検討 関節リウマチ患者におけるゴリ ムマブの治療効果 疾患活動性維持効果の検 討	整形外科(0030- 5901)
91	長尾 信人, 辻井 雅也, 植村 剛, 國 分 直樹, 横 山 弘和, 須 藤 啓広	運動器外科学・腫瘍集 学治療学	足関節内果皮膚潰瘍に対して後脛骨動脈穿通 枝皮弁を用いて再建した1例	中部日本整形外 科災害外科学会 雑誌(0008- 9443)
92	浅野 貴裕, 中村 知樹, 松原 孝夫, 浅沼 邦洋, 松峯 昭彦, 須藤 啓広	運動器外科学・腫瘍集 学治療学	上腕皮下に発生した骨外性骨肉腫の1例	中部日本整形外 科災害外科学会 雑誌(0008- 9443)
93	宮村 岳, 長谷川正裕, 吉田格之進, 若林 弘樹, 松峯 昭彦, 須藤 啓広	運動器外科学・腫瘍集 学治療学	骨腫瘍と鑑別を要した特発性大腿骨頭壊死症 の1例	中部日本整形外 科災害外科学会 雑誌(0008- 9443)

94	竹上 徳彦, 明田 浩司, 村田耕一郎, 榊原 紀彦, 笠井 裕一, 須藤 啓広	運動器外科学・腫瘍集 学治療学	Cortical bone trajectory法を用いた腰椎後 方固定術	中部日本整形外 科災害外科学会 雑誌(0008- 9443)
95	長谷川正裕, 吉田格之進, 宮崎 晋一, 宮本 憲, 若林 弘樹, 須藤 啓広	運動器外科学・腫瘍集 学治療学	【人工関節置換術-最新の知見】 手術手技 ナビゲーション ナビゲーションを用いた人 工膝関節全置換術のエラー評価	別冊整形外科 (0287-1645)
96	刀根 慎恵, 若林 弘樹, 長谷川正裕, 藤枝 敦史, 須藤 啓広	運動器外科学・腫瘍集 学治療学	臨床室 サラゾスルファピリジン内服開始後に 無顆粒球症を呈した関節リウマチの1例	整形外科(0030- 5901)
97	若林 弘樹, 長谷川正裕, 西岡 洋右, 西岡久寿樹, 須藤 啓広	運動器外科学・腫瘍集 学治療学	経験と考察 関節リウマチ患者におけるアバタ セプトの治療効果 生物学的製剤初回群と切 り替え群との比較・検討	整形外科(0030- 5901)
98	長谷川 正 裕, 須藤 啓 広	運動器外科学・腫瘍集 学治療学	【血栓症治療ガイドラインup-to-date】 その 他(薬剤、検査、腎臓、糖尿病等) 非経口抗 凝固剤 抗血栓療法と血栓予防、第9版ACCPガ イドライン エビデンスに基づいた臨床実践 ガイドライン	血栓と循環 (0919-7036)22 巻1号
99	岸和田昌之, 伊佐地秀司	肝胆膵・移植外科	Borderline resectable膵癌	日本臨床 Page428- 432 (2015. 03)
100	安積 良紀, 伊佐地秀司	肝胆膵・移植外科	通常型膵癌 治療 外科的切除 標準的切除 開腹手術	日本臨床 Page129- 133 (2015. 03)
101	佐藤 梨枝, 岸和田昌之, 伊佐地秀司	肝胆膵・移植外科	通常型膵癌の疫学	日本臨床 Page95- 99 (2015. 03)

102	種村 彰洋, 栗山 直久, 伊佐地 秀司	肝胆膵・移植外科	第1空腸動脈による動脈血行再建を用いた肝動脈合併膵頭十二指腸切除術	手術 Page135-142 (2015. 02)
103	岸和田昌之, 伊佐地秀司	肝胆膵・移植外科	局所進行(切除可能境界、切除不能)膵癌に対する治療戦略	医学のあゆみ 252巻8号 Page881-886 (2015. 02)
104	加藤 宏之, 伊佐地秀司	肝胆膵・移植外科	カラービジュアルで理解! 消化器疾患ナビ 急性膵炎、慢性膵炎	消化器外科 Nursing19巻12号 Page1200-1208 (2014. 12)
105	加藤 宏之, 臼井 正信, 栗山 直久, 田端 正己, 伊佐地 秀司	肝胆膵・移植外科	術中戦略 リンパ節郭清範囲 肝外胆管癌	臨床外科 70巻1号 Page74-79 (2015. 01)
106	出崎 良輔, 水野 修吾, 種村 彰洋, 伊佐地 秀司	肝胆膵・移植外科	膵頭十二指腸切除術中のピットフォールとその対策	外科 76巻12号 Page1474-1483 (2014. 11)
107	奥田 善大, 藤永 和寿, 種村 彰洋, 岸和田昌之, 伊佐地秀司	肝胆膵・移植外科	膵炎の治療 膵炎に対する手術適応と手技	胆と膵35巻臨増特大 Page1085-1092 (2014. 10)
108	松田 明敏, 奥田 善大, 栗山 直久, 臼井 正信, 伊佐地 秀司	肝胆膵・移植外科	術式別の術前・術中・術後管理 胆道・胆嚢中下部胆管癌	臨床外科 69巻11号 Page175-180 (2014. 10)
109	奥田 善大, 臼井 正信, 田端 正己, 伊佐地秀司, 佐藤 芳邦	肝胆膵・移植外科	胆嚢癌に対する肝中央2区域切除術	手術 68巻11号 Page1461-1465 (2014. 10)

110	伊佐地 秀司	肝胆膵・移植外科	膵膿瘍とWON(被包化壊死)	肝胆膵治療研究会誌 12巻1号 Page86-90 (2014. 08)
111	飯澤 祐介, 臼井 正信, 種村 彰洋, 村田 泰洋, 栗山 直久, 安積 良紀, 岸和田 昌之, 水野 修吾, 櫻井 洋至, 田端 正己, 井上 幹大, 岩佐 正, 伊佐地秀司	肝胆膵・移植外科	化学療法後に陽子線治療を併施し、原発巣・肝転移切除を施行した門脈腫瘍塞栓を伴った巨大膵芽腫の1症例	肝胆膵治療研究会誌12巻1号 Page49-57 (2014. 08)
112	種村 彰洋, 水野 修吾, 奥田 善大, 加藤 宏之, 村田 泰洋, 栗山 直久, 安積 良紀, 岸和田昌之, 臼井 正信, 櫻井 洋至, 伊佐地 秀司	肝胆膵・移植外科	腫瘍径10cm以上の巨大肝癌に対する外科治療成績 年代別治療成績の推移	肝胆膵治療研究会誌12巻1号 Page18-26 (2014. 08)
113	岸和田 昌之, 加藤 宏之, 佐藤 梨枝, 佐藤 芳邦, 伊佐地秀司	肝胆膵・移植外科	Borderline resectable膵癌の臨床的特徴と治療成績 膵切研究会アンケート調査結果と当科の化学放射線療法の比較	癌の臨床 60巻3号 Page247-257 (2014. 07)
114	松田 明敏, 種村 彰洋, 伊佐地 秀司	肝胆膵・移植外科	膵炎術後・治療後 慢性膵炎の外科治療と術後に必要な診療・治療	肝・胆・膵 69巻1号 Page13-22 (2014. 07)
115	伊佐地 秀司, 種村 彰洋, 安積 良紀	肝胆膵・移植外科	急性膵炎におけるWONの概念とは	膵臓 29巻2号 Page202-209 (2014. 04)
116	飯澤 祐介, 安積 良紀, 伊佐地 秀司	肝胆膵・移植外科	医療資源投入量からみた急性膵炎重症度の再評価	膵臓 29巻2号 Page163-170 (2014. 04)

117	岸和田昌之, 佐藤梨枝, 伊佐地秀司	肝胆膵・移植外科	膵広範切除後の膵内外分泌機能評価と治療戦略 膵頭十二指腸切除を中心に	胆と膵 35巻4号 Page365-371 (2014. 04)
118	藤永 和寿, 飯澤 祐介, 伊佐地秀司, 佐藤 芳邦	肝胆膵・移植外科	急性膵炎の経皮的治療 Step-up approach法の1st stepとしての役割	胆と膵 35巻5号 Page405-411 (2014. 05)
119	奥田 善大, 田端 正己, 伊佐地 秀司	肝胆膵・移植外科	胆道の手術 進行胆嚢癌 肝S4a、S5切除+膵頭十二指腸切除術	消化器外科 37巻5号 Page847-852 (2014. 04)
120	種村 彰洋, 信岡 祐, 伊 佐地 秀司	肝胆膵・移植外科	慢性膵炎の外科治療	臨床消化器内科 29巻5号 Page591-598 (2014. 04)
121	出崎 良輔, 大澤 一郎, 伊佐地 秀司	肝胆膵・移植外科	手術手技 膵頭十二指腸切除後の膵消化管吻合部狭窄に対する膵管空腸再吻合術	手術 68巻5号 Page731-736 (2014. 04)
122	小沼 武司	胸部心臓血管外科	Modified Simple Sliding Aortoplastyによる大動脈弁上狭窄症手術	日本小児循環器学会雑誌 2014 ; 30 (2) : 198-199.
123	山本 直樹, 稲垣 順大, 藤井 太郎, 馬瀬 泰美, 徳井 俊也, 湯淺 右人	胸部心臓血管外科	急性肺動脈塞栓症の原因となった膝窩 Venous Aneurysm の1例	日本血管外科学会雑誌 2014 ; 23 (7) : 1011-1014.
124	三谷 義英	周産母子センター	成人期の急性冠イベント : Transitionの問題	小児内科

125	三谷 義英	周産母子センター	遠隔期川崎病と成人期の急性冠症候群	日本臨床
126	三谷 義英	周産母子センター	川崎病と成人急性冠症候群	呼吸と循環
127	豊田 秀実	小児科学分野	弱毒生ポリオワクチンを用いた神経芽腫の新しい治療	日本小児血液がん学会雑誌 Vol. 51(5) : 406-411, 2014
128	岩本 彰太郎	周産母子センター	小児在宅医療を支える地域医療機関の現状と今後の連携	日本小児科学会雑誌 118 : 1747-1753, 2014
129	堀木 紀行, 北出 卓, 葛原 正樹, 十時 利明, 原田 哲郎, 田野 俊介, 山田 玲子, 濱田 康彦, 井上 宏之, 竹井 謙之	消化器・肝臓内科	アレルギー性紫斑病における内視鏡所見の検討	臨床免疫・アレルギー科 61(1), 57- 64, 2014. 01
130	藤田 尚己, 竹井 謙之	消化器・肝臓内科	鉄代謝障害とNASH	細胞 46(1), 4- 7, 2014. 01
131	藤田 尚己, 宮地 洋英, 杉本 龍亮, 諸岡 留美, 田中 秀明, 岩佐 元雄, 竹井 謙之, 山添 尚久, 坂 保寛, 原田 雅典, 友杉 直久	消化器・肝臓内科	アルコール性肝障害患者にみられる鉄過剰の肝病態への関与と原因としてのhepcidinの発現動態の検討	アルコールと医学 学生物学 32, 19- 23, 2014. 01

132	山田 玲子, 井上 宏之, 野尻 圭一郎, 二宮 克仁, 田野 俊介, 葛原 正樹, 濱田 康彦, 田中 匡介, 堀木 紀行, 竹井 謙之	消化器・肝臓内科	壊死性膵炎後walled-off necrosisに対する複合的治療	Gastroenterological Endoscopy 56(1), 58- 63, 2014. 01
133	岩佐 元雄	消化器・肝臓内科	アルコール性臓器障害と栄養	Frontiers in Alcoholism 2(1), 36- 40, 2014. 1. 30
134	藤田 尚己, 竹井 謙之	消化器・肝臓内科	鉄代謝障害とNASH	細胞 The CELL 46(1), 2014. 1. 2 0
135	藤田 尚己, 竹井 謙之	消化器・肝臓内科	NASHに対し除鉄療法(瀉血+鉄制限食)が有効であった症例	消化器の臨床 17(1), 76- 81, 2014. 02
136	堀木 紀行, 十時 利明, 北出 卓, 葛原 正樹, 濱田 康彦, 田中 匡介, 荒木 俊光, 楠 正人, 竹井 謙之	消化器・肝臓内科	大腸内視鏡 拡大内視鏡	Intestine 18(2), 119- 126, 2014. 03
137	竹井 謙之	消化器・肝臓内科	アルコール性肝障害における断酒の効果： 内科からみたアンプロサートへの期待と医 療連携について	Pharma Medica 32(3), 184- 189, 2014. 03
138	竹井 謙之	消化器・肝臓内科	NAFLD/NASH	医学のあゆみ 249(5), 423- 424, 2014. 5. 3

139	竹井 謙之	消化器・肝臓内科	アルコール性肝障害と性差	医学と薬学 71(9), 2014. 09
140	大西 真裕, 都丸 敦史, 高橋 佳紀, 藤原研太郎, 浦和 昌史, 高木 健裕, 小林 哲, 小林 裕康, 畑地 治, 吉田 正道, 井端 英憲, 田口 修	呼吸器内科	三重県下6病院におけるBevacizumab併用化学療法の使用経験	日本呼吸器学会 誌 3巻増 刊, 305, 2014. 3
141	高木 健裕, 高橋 佳紀, 都丸 敦史, 藤原研太郎, 大西 真裕, 小林 哲, 小林 裕康, ガバザ・エス テバン, 田口 修	呼吸器内科	気管支喘息における樹状細胞に対する活性化 プロテインCの役割	日本呼吸器学会 誌 3巻増 刊, 255, 2014. 3
142	田口 修	呼吸器内科	タバコによる進行するCOPD(慢性閉塞性肺疾患)	結核 89 (3), 359, 2014
143	大西 真裕, 小林 哲, 都丸 敦史, 高橋 佳紀, 藤原研太郎, 浦和 昌史, 高木 健裕, 小林 裕康, ガバザ・エス テバン, 田口 修	呼吸器内科	特徴的な画像経過を呈した乳癌の肺腫瘍塞栓 の1例	日本呼吸器学会 誌 3(1) , 142- 147, 2014. 1
144	高橋 佳紀, 笹邊 淳, 前田 光, 藤原 篤司, 油田 尚総, 吉田 正道, 田口 修	呼吸器内科	Yersinia pseudotuberculosisによる肺化膿症 の本邦初報告例	感染症学会誌 88(4), 463- 468, 2014. 7. 20



145	古田 範子, 尾崎加奈子, 岡野 優子, 西濱 康太, 橋本 礼, 堀田 康広, 上村 明, 坂本 正子, 安間 太郎, 大西 悠紀, 鈴木 俊成, 松本 和隆, 矢野 裕, 竹井 謙之, 住田 安弘	糖尿病・内分泌内科	非典型的な下垂体機能検査を示した嚢胞性腺腫によるCushing病の1例	日本内分泌学会 雑誌 90(3), 916, 2014 , 10
146	西濱 康太, 尾崎加奈子, 岡野 優子, 橋本 礼, 堀田 康広, 上村 明, 坂本 正子, 安間 太郎, 大西 悠紀, 鈴木 俊成, 林 豊美, 古田 範子, 矢野 裕, 竹井 謙之	糖尿病・内分泌内科	持続血糖測定を用いた血糖変動指標と糖尿病合併症の関連についての検討	糖尿病合併症 28Suppl. 1, 130, 2914. 09
147	古田 範子, 岡野 優子, 竹下 敦郎, 橋本 礼, 堀 田 康広, 上 村 明, 坂本 正子, 安間 太郎, 大西 悠紀, 鈴木 俊成, 林 豊美, 松本 和隆, 赤塚 元, 中谷 中, 矢野 裕, 竹井 謙之, 住田 安弘	糖尿病・内分泌内科	糖尿病患者における尿中CPRと夜間血糖の日差変動(MODD), 日内変動(MAGE)についての持続血糖モニター(CGМ)を用いた検討	糖尿病 57Suppl. 1, 407, 2014. 04

148	<p>上村 明, 竹下 敦郎, 堀田 康広, 安間 太郎, 鈴木 俊成, 佐藤 利幸, 森本 彩, 細谷 砂美子, 角中 ちひろ, 中島 弘, 矢野 裕, 竹井 謙之, 住田 安弘</p>	糖尿病・内分泌内科	無採血の組織液抽出技術を用いた夜間8時間にわたる血糖時間曲線下面積の測定	糖尿病 57Suppl. 1, 407, 2014. 04
149	<p>竹下 敦郎, 岡野 優子, 橋本 礼, 堀田 康広, 上村 明, 坂本 正子, 安間 太郎, 大西 悠紀, 林 豊美, 松本 和隆, 古田 範子, 赤塚 元, 鈴木 俊成, 中谷 中, 矢野 裕, 住田 安弘, 竹井 謙之</p>	糖尿病・内分泌内科	インスリン治療にDPP4阻害薬を追加した際の血糖推移の検討	糖尿病 57Suppl. 1, 309, 2014. 04
150	<p>堀田 康広, 大久保 節也, 市川 毅彦, 矢野 裕, 竹井 謙之, 住田 安弘</p>	糖尿病・内分泌内科	脂質異常症を伴う2型糖尿病患者におけるアナグリプチンの有効性の検討	糖尿病 57Suppl. 1, 306, 2014. 04
151	<p>岡野 優子, 竹下 敦郎, 堀田 康広, 橋本 礼, 上村 明, 坂本 正子, 安間 太郎, 大西 悠紀, 鈴木 俊成, 林 豊美, 古田 範子, 矢野 裕, 竹井 謙之, 住田 安弘</p>	糖尿病・内分泌内科	当院におけるリナグリプチンの使用経験	糖尿病 57Suppl. 1, 30 1, 2014. 04

152	橋本 礼, 岡野 優子, 竹下 敦郎, 堀田 康広, 上村 明, 坂本 正子, 安間 太郎, 大西 悠紀, 鈴木 俊成, 林 豊美, 松本 和隆, 古田 範子, 赤塚 元, 矢 野 裕, 竹井 謙之, 住田 安弘	糖尿病・内分泌内科	当院におけるインスリン使用中の若年発症糖尿病患者についての検討	糖尿病 57Suppl. 1, 29 1, 2014. 04
153	原 なぎさ, 岩佐 元雄, 岩田加寿子, 諸岡 留美, 矢野 裕, 竹井 謙之	糖尿病・内分泌内科	糖尿病における内臓脂肪と脳・心血管無イベントの関連性	糖尿病 57Suppl. 1, 286, 2014. 04
154	林 豊美, 岡野 優子, 竹下 敦郎, 堀田 康広, 橋本 礼, 坂本 正子, 上村 明, 安間 太郎, 大西 悠紀, 鈴木 俊成, 松本 和隆, 古田 範子, 矢野 裕, 竹井 謙之, 住田 安弘	糖尿病・内分泌内科	当院におけるインスリンデグルデクの使用経験	糖尿病 57Suppl. 1, 276, 2014. 04
155	大西 悠紀, 岡野 優子, 竹下 敦郎, 橋本 礼, 堀田 康広, 上村 明, 坂本 正子, 安間 太郎, 鈴木 俊成, 林 豊美, 松本 和隆, 古田 範子, 赤塚 元, 矢野 裕, 竹井 謙之, 住田 安弘	糖尿病・内分泌内科	インスリン治療中の糖尿病患者における外来CGMIによる夜間低血糖の検討	糖尿病 57Suppl. 1, 194, 2014. 04

156	安間 太郎, 岡野 優子, 竹下 敦郎, 橋本 礼, 堀田 康広, 上村 明, 坂本 正子, 大西 悠紀, 鈴木 俊成, 林 豊美, 松本 和隆, 古田 範子, 赤塚 元, 矢 野 裕, ガバザ エス テバン, 住田 安弘, 竹井謙之	糖尿病・内分泌内科	ストレプトゾトシン誘発糖尿病の $\beta$ 細胞障害 に対するプロテインS過剰発現の影響	糖尿病 57Suppl. 1, 191, 2014. 04
157	矢野 裕, 安間 太郎, 岡野 優子, 竹下 敦郎, 橋本 礼, 堀田 康広, 坂本 正子, 上村 明, 大西 悠紀, 鈴木 俊成, 林 豊美, 古田 範子, Gabazza Esteban, 竹井 謙之, 住田 安弘	糖尿病・内分泌内科	プロテインSトランスジェニックマウスにおけ る腎症の進展と抗炎症作用の解析	糖尿病 57Suppl. 1, 187, 2014. 04
158	坂本 正子, 岡野 優子, 橋本 礼, 大西 悠紀, 林 豊美, 松本 和隆, 矢野 裕, 竹井 謙之, 住田 安弘	糖尿病・内分泌内科	Ketosis-prone type 2 diabetesが疑われた 若年発症の糖尿病の1例	糖尿病 57Suppl. 1, 58, 2 014. 01
159	橋本 礼, 岡野 優子, 坂本 正子, 大西 悠紀, 林 豊美, 松本 和隆, 矢野 裕, 竹井 謙之, 住田 安弘	糖尿病・内分泌内科	若年発症の糖尿病に視神経脊髄炎を合併した 一例	糖尿病 57Suppl. 1, 60, 2 014. 01

160	原 なぎさ, 岩佐 元雄, 寺坂枝里子, 服部 文菜, 石留真寿美, 杉本 龍亮, 諸岡 留美, 藤田 尚己, 岩田加寿子, 矢野 裕, 竹井 謙之	糖尿病・内分泌内科	NAFLD合併糖尿病における内臓脂肪と脳・心血管イベントの関連性	糖尿病 57Suppl. 1, 65, 2 014. 01
161	村木 優一	薬剤部	研究戦略：YAKU学、研究現場から臨床へ	薬事日報 2014. 4. 30
162	岩本 卓也	薬剤部	抗がん剤によるアレルギー	医療ジャーナル 50 (4)
163	村木 優一	薬剤部	感染症対策に求められる施設環境と抗菌適正使用策のパラダイムシフト	感染制御JIPCP Vol.10 No. 4 (2014)
164	佐生 喬	臨床工学部	冠動脈用ステントデリバリーカテーテルの力学的性能	日本医工学治療 学会Vol. 27 No. 1
165	佐生 喬	臨床工学部	血栓吸引カテーテルの吸引性能及び血管追従性能における評価	日本心血管インターベンション 治療学会誌 Vol. 7 No. 2
166	佐生 喬	臨床工学部	冠動脈ステントにおける半径方向の強度および剛性の評価	日本医工学治療 学会Vol. 27 No. 3
167	小椋 透	臨床研究開発センター	対応分析における次元推定のための規準量の漸近的挙動	計算機統計学

168	佐野 貴則, 石田 藤磨, 梅田 靖之, 三浦 洋一, 辻 正範, 古川 和博, 芝 真人, 種村 浩, 霜坂 辰一, 鈴木 秀謙	脳神経外科	脳動脈瘤の流体解析	日本血管内治療 学会誌 2014; 15(1):8-12
169	梅田 靖之, 鈴木 秀謙	脳神経外科	脳出血急性期の血圧管理	日本臨床(増刊 号)2014; 72(通巻 No.1067)(suppl 7):308-311
170	長谷川 雄, 鈴木 秀謙, 植川 顕, 河野 隆幸, 倉津 純一, 光山 勝慶	脳神経外科	クモ膜下出血における早期脳損傷の役割~新しい治療ターゲット~	脳循環代謝 2014; 25:123- 128
171	辻 正範, 倉石 慶太, 水野 正喜, 佐野 貴則, 鈴木 秀謙	脳神経外科	神経因性膀胱で発症した頸椎椎間板ヘルニアの一例	脳外誌 2014; 23(10):827-831
172	佐野 貴則, 梅田 靖之, 石田 藤磨, 三浦 洋一, 辻 正範, 当麻 直樹, 阪井田博司, 鈴木 秀謙	脳神経外科	当施設におけるPhase contrast MRIを用いたFlow Dynamics Analysisの試み	映像情報メディ カル 2014; 46(6):520-521
173	鈴木 秀謙	脳神経外科	頸動脈内膜剥離術 少ない症例で安定した成績をめざす	脳神経外科速報 2014; 24(8):841-848
174	鈴木 秀謙	脳神経外科	片側顔面痙攣に対する微小血管減圧術	脳神経外科速報 2014; 24(12):1294- 1300

175	藤本 昌志, 芝 真人, 川北 文博, 今中-吉田恭 子, 吉田 利通, 金丸 憲司, 鈴木 秀謙	脳神経外科	くも膜下出血後の血液脳関門障害におけるテ ネイシンCの役割	脳血管攣縮 2014; 30:12-14
176	川北 文博, 藤本 昌志, 佐野 貴則, 梅田 靖之, 当麻 直樹, 阪井田博司, 松島 聡, 鈴木 秀謙	脳神経外科	Angiographic vasospasmと脳梗塞の関係“主 観的評価と客観的評価”	脳血管攣縮 2014; 30:8-11
177	古川 和博, 石田 藤麿, 三浦 洋一, 梅田 靖之, 佐野 貴則, 松島 聡, 霜坂 辰一, 滝 和郎, 鈴木 秀謙	脳神経外科	数値流体力学解析による脳動脈瘤壁の肥厚性 リモデリングの評価	CI研究 2014; 36(2):73-77
178	鈴木 秀謙	脳神経外科	第12回国際脳血管攣縮学会(Vasospasm 2013) 報告記(2013年7月10~12日)	脳神経外科 2014; 42(3):240-241
179	阪井田博司, 米田 俊一, 米田 弘幸	脳神経外科	脳神経外科領域におけるTrinias B12 Package の使用経験	Medical Now 2014; 76: 29- 35
180	阪井田博司, 米田 俊一, 米田 弘幸, 山本 章貴, 芝 真人, 安田 竜太	脳神経外科	脳動脈瘤に対する頭蓋内ステント併用コイル 塞栓術 ー高解像度を実現したコーンビーム CT搭載新バイプレーンシステムの初期使用経 験	INNERVISION 2014; 29(5): 84-87

181	倉石 慶太, 花北 順哉, 高橋 敏行, 渡邊 水樹, 上坂十四夫	脳神経外科	L5/S1椎間孔外狭窄についての検討	脊髄外科. 2013;27(1):40-44.
182	水野 正喜	脳神経外科	伊勢神宮と継承される文化	脊椎脊髄ジャーナル. 2014;27(5):493-4.
183	福森 史郎, 藤井英太郎, 藤田 聡, 杉浦 伸也, 村木 優一, 岩本 卓也, 辻 泰弘, 藤 秀人, 伊藤 正明, 奥田 真弘	薬剤部	持続性心房細動に対するカテーテルアブレーション後の血漿中ペプリジル濃度と心房細動再発予防効果との関連性	TDM研究 31: 62-68 (2014)
184	竹村 洋典	家庭医療学	【海のむこうの総合診療】 海外から学べること、日本の総合診療のこれから(解説/特集)	治療 (0022-5207)97巻7号 Page882-884(2015.07)
185	竹村 洋典	家庭医療学	総合診療・家庭医療とは何か、そして心身医学の役割は 総合診療・家庭医療とは何か、そして心身医学の役割は 大学における立場と心身医学とのかかわり(会議録)	日本心療内科学会誌 (1342-9558)18巻別冊 Page50(2014.11)
186	森 洋平	総合診療科	【その気にさせる伝え方】 (スタッフ編) チーム力を高めるための効果的な機会づくりのススメ(勉強会、宴会、慰安旅行など)(解説/特集)	治療 (0022-5207)97巻2号 Page218-222(2015.02)
187	家 研也	総合診療科	これって、急変?(Part2) なんとなく変への対処法(第1回) 在宅でケイレン!まずどう動く?(解説)	訪問看護と介護 (1341-7045)20巻1号 Page60-65(2015.01)
188	北村 大	総合診療科	【備えておくべき重篤疾患の診かた-見落としを防ぐには】 (CASE 12) よくある症状が実は…尿が出ない、回数が少ないと訴える76歳女性(解説/特集)	日本医事新報 (0385-9215)4718号 Page65-69(2014.09)



189	田口 智博	総合診療科	【知らなきゃ損する!Doctor's pearl】 教育 診療所で使えるコーチング術 コーチング によって学習者の能力を最大限に引き出せる (解説/特集)	治療 (0022- 5207)96巻4月増 刊 Page742- 745 (2014. 04)
190	若林 英樹	地域医療学講座	サイプロジェクトの経験より 災害医療のた めに家庭医・総合医は何を備えておくべき か?(一般)	日本プライマ リ・ケア連合学 会誌 (2185- 2928)38巻特別 号 Page132- 135 (2015. 03)
191	洪 英在	地域医療学講座	「望ましい胃ろう、望ましくない胃ろう」 胃ろうに関する議論の整理を行いましょ う胃ろうに関する諸問題。実臨床で、このよ うな事はありませんか?(会議録)	日本在宅医学会 大会 17回 Page221 (2015. 0 4)
192	若林 英樹	地域医療学講座	【医療現場での家族・夫婦アプローチ】 在宅 医療を介して家族にアプローチする 在宅 医療における家族支援(解説/特集)	精神療法 (0916-8710)40 巻5号 Page680- 687 (2014. 10)
193	後藤 道子	地域医療学講座	本邦における、大学・専門職養成校の多職種 連携教育に関する現状調査(会議録)	医学教育 (0386-9644)45 巻Suppl. Page144 (2014. 0 7)
194	洪 英在	津地域医療学講座	『90疾患の臨床推論! 診断の決め手を各科専 門医が教えます 「せん妄」』	レジデントノー ト増刊
195	洪 英在	津地域医療学講座	『90疾患の臨床推論! 診断の決め手を各科専 門医が教えます 「アルツハイマー型認知 症」』	レジデントノー ト増刊
196	洪 英在	津地域医療学講座	『90疾患の臨床推論! 診断の決め手を各科 専門医が教えます 「レビー小体型認知症」』	レジデントノー ト増刊

197	洪 英在	津地域医療学講座	「すんなりわかる 実践！認知症を診ていこう」	治療
198	大西 丈二, 古里 綾佳, 山添 尚久, 小島 照司, 関岡 清次	医学系研究科地域包括 ケア・老年医学産学官 連携講座	一過疎町における訪問診療対象者の日常生活 動作および認知機能等に関する概況調査	日本在宅医学会 雑誌
199	坂倉 庸介	臨床麻酔部	硬膜外カテーテル抜去困難時に3D-CTが有効 だった1例	日本臨床麻酔学 会誌34(4), 496-499, 2014
200	田村 麻子, 佐々木 良元, 賀川 賢, 中谷 中, 小坂 仁, 富本 秀和	神経内科	後方優位の白質脳症を呈し、葉酸をふくむビ タミン投与が著効したメチレンテトラヒドロ 葉酸還元酵素欠損症の1例	臨床神経 2014;54 : 200- 206
201	伊藤 愛, 佐々木 良元, 朝日 理, 富本 秀和	神経内科	MRI拡散強調画像にて髄膜に高信号域をみとめ たWegener肉芽腫症による軟膜・硬膜炎の1例	臨床神経, 54 : 888-891, 2014
202	笠井 裕一	脊椎外科・医用工学講 座	整形外科ナースのためのお悩み相談室 脊椎 手術において、前方・後方のアプローチの選 択基準について教えてください(Q&A)	整形外科看護
203	笠井 裕一	脊椎外科・医用工学講 座	知っておきたい腰痛の知識up date ロコモ ティブシンドロームと腰痛	Modern Physician

204	神田 英輝, 西井 正彦, 舛井 覚, 西川 晃平, 吉尾 裕子, 長谷川 嘉弘, 山田 泰司, 有馬 公伸, 杉村 芳樹	腎泌尿器外科	腎盂尿管腫瘍の診断における腎盂尿管鏡の有 用性に関する検討	Japanese Journal of Endourology 27(1) : 200- 206
205	長谷川 嘉弘, 西井 正彦, 舛井 覚, 吉尾 裕子, 神田 英輝, 金井 優博, 山田 泰司, 有馬 公伸, 杉村 芳樹	腎泌尿器外科	ビルハルツ住血吸虫症の1例	泌尿器科紀要 60(2) : 91-94
206	磯田 憲一	皮膚科	インターネットを安全に使うための基礎知識	日本皮膚科学会 雑誌125(1) : 83-88. 2015
207	欠田 成人	皮膚科	IL-17関連抗体と乾癬	感染・炎症・免疫 44(2) : 70-73. 2014
208	欠田 成人	皮膚科	尋常性乾癬と肥満細胞	Visual Dermatology (2186-6589) 14 巻1号 Page72- 73 (2014. 12)
209	山中 恵一	皮膚科	難治性の尋常性乾癬に対する外用療法の工夫 ステロイドローションとビタミンD3軟膏との1 日1回併用療法の有用性	西日本皮膚科 76(1) : 38-43. 2014
210	山中 恵一	皮膚科	マイナーエマージェンシー 実地医家に必要 な応急対処法のすべて IX. 皮膚科的minor emergency (9項目) 3. 急性蕁麻疹	月刊Medical Practice 2014 年臨時増刊号 2014

211	宮崎 満利子	皮膚科	右中指に生じた基底細胞癌の1例	皮膚科の臨床 56(7): 1078- 1079. 2014
212	中森 梨奈	皮膚科	有茎性脂腺母斑	皮膚病診療 36(11): 1013- 1016. 2014
213	山中 恵一	皮膚科	Q124:乾癬 乾癬の発症機序・外用療法・内服療法	Visual Dermatology 13(10)2014

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

(注) 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

(注) 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容  目的、定義、設置者の責務、委員会等の役割・責務、委員会等の構成及び会議の成立要件等、迅速審査	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 12 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容  ・ 臨床研究に係わる利益相反行為に関するマネジメントの方針及び方法の原案の作成 ・ 臨床研究に係わる利益相反行為者への改善措置に関する勧告又は指示の原案の作成 ・ 臨床研究に係わる利益相反行為に関するマネジメントのための調査の実施及びその結果の分析 ・ 情報公開のための原案の作成	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 5 回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 5 回
・ 研修の主な内容  臨床研究倫理指針および治験に関する合同講習会、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針講習会	

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

MMC総合内科後期研修プログラム、血液内科専門医取得コース、腫瘍内科専門医取得コース、消化器専門医養成プログラム、先端内視鏡・低侵襲インターベンション専門消化器養成プログラム、糖尿病専門医取得コース、内分泌・代謝専門医取得コース、肥満症専門医取得コース、病態栄養専門医取得コース、神経内科後期研修プログラム、外科専門医取得コース、消化器外科専門医コース、内視鏡外科専門医コース、肝胆膵外科専門医コース、移植外科専門医コース、炎症性腸疾患外科治療教育コース、腫瘍外科医を目指した大腸がん集学的治療コース、消化器腹腔鏡外科治療教育コース、乳腺専門医取得コース、小児外科治療教育コース、乳腺専門医養成コース、がんプロフェッショナル養成プラン乳腺外科専門医養成コース、三重大学胸部心臓血管外科advancedcourse、三重大学心臓血管外科専門医コース、三重大学呼吸器外科専門医コース、整形外科後期研修プログラム、産婦人科後期研修プログラム、小児科後期研修プログラム、精神科専門医取得コース、皮膚科後期研修プログラム、脳神経外科学後期研修プログラム、眼科専門医取得コース、耳鼻咽喉・頭頸部外科後期研修プログラム、泌尿器外科後期研修プログラム、三重大学家庭医療学プログラム、放射線科専門医取得コース、麻酔認定医取得コース、麻酔専門医取得コース、病理部研修プログラム、救命救急センター後期研修プログラム

2 研修の実績

研修医の人数	311人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
藤本 源	呼吸器内科	助教	17年	
岩佐 元雄	消化器・肝臓内科	准教授	29年	
山田 典一	循環器内科	講師	26年	
石川 英二	腎臓内科	講師	20年	
谷口 彰	神経内科	講師	26年	H7.9.1～H9.3.31休職
栴屋 正浩	血液・腫瘍内科	准教授	29年	
矢野 裕	糖尿病内分泌内科	准教授	30年	
新保 秀人	心臓血管・呼吸器外科	教授	36年	
毛利 靖彦	消化管・小児外科	准教授	25年	
花村 典子	乳腺外科	講師	23年	
平山 雅浩	小児科	准教授	29年	
谷井 久志	精神科	准教授	23年	
長谷川 正裕	整形外科	講師	25年	
当麻 直樹	脳神経外科	講師	21年	H23.7.1～H25.6.30休職
山中 恵一	皮膚科	准教授	22年	H15.5.16～H17.6.30休職
杉村 芳樹	泌尿器科	教授	37年	
有馬 公伸	泌尿器科	准教授	35年	
田畑 務	産婦人科	准教授	29年	
近藤 峰生	眼科	教授	24年	H11.1.25～H13.1.25休職
竹内 万彦	耳鼻咽喉科	教授	31年	
佐久間 肇	放射線科	教授	30年	H5.11.1～H8.3.31休職
宮部 雅幸	麻酔科	教授	36年	
武田 多一	救急科	准教授	29年	
乾 真登可	歯科口腔外科	准教授	36年	
伊佐地 秀司	肝胆膵外科	教授	36年	
白石 泰三	病理部	教授	36年	
竹村 洋典	総合診療科	教授	27年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容
  
- ・研修の期間・実施回数
  
- ・研修の参加人数

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容
  
- ・研修の期間・実施回数
  
- ・研修の参加人数

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
  
- ・研修の期間・実施回数
  
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
管理責任者氏名	病院長 伊藤 正明
管理担当者氏名	中央放射線部長 佐久間 肇 薬剤部長 奥田 真弘 医療安全・感染管理部長 兼児 敏浩 医療福祉支援センター長 内田 恵一 医学・病院管理部総務課長 山田 浩之 医学・病院管理部医療サービス課長 草川 弥生

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録		各診療科	診療に関する諸記録は全科電子カルテを導入。ただし、患者の署名のある同意書および電子カルテから印刷後に医師等が追記した記録は帳票が原本として保管管理している。保管場所は病歴室。
病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書			
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医療サービス課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医療サービス課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療サービス課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療サービス課、薬剤部	
第一号に掲げる十一の確保の状況及び第九條の二十第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療サービス課、医療安全・感染管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	総務課、医療サービス課、医療安全・感染管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	総務課、医療サービス課、医療安全・感染管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療サービス課、医療安全・感染管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療サービス課、医療安全・感染管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の配置状況	医療サービス課、医療安全・感染管理部	
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課、医療福祉支援センター		



		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	総務課
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	総務課
	第一項各号	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課
	及び第九条	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	総務課
	第二十三項	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	総務課 薬剤部
	第一号に掲げる	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	体制の	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
	確保の	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務課
	状況	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	総務課 臨床工学部
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経営管理課 臨床工学部	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状	
閲覧責任者氏名	病院長	伊藤 正明	
閲覧担当者氏名	医学・病院管理部総務課長	山田 浩之	
閲覧の求めに応じる場所	病態医科学研究棟 2階	大会議室	
閲覧の手続の概要			
①規程に定められた閲覧申込書を、原則として閲覧を希望する2週間前までに病院長に提出する			
②病院長は、前項の申込みを適当と認めるときは、閲覧承認書(別紙様式第2)を交付する			
③閲覧に際しては、閲覧担当者が立ち会った上でおこなう			

(注) 既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の1第1項各号及び第9条の2第3第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・安全管理のための委員会、その他医療機関内の組織に関する基本事項</li><li>・安全管理のための職員研修に関する基本方針</li><li>・医療機関内における事故報告書等の医療に係る安全確保のための改善策に関する基本方針</li><li>・医療事故等発生への対応に関する基本方針</li><li>・患者からの相談への対応に関する指針</li><li>・その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li></ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 121 回
<p>・活動の主な内容：</p> <p>○医療問題対策委員会（年12回） 医療法制に関する事項、医療事故の予防に関する事項、医療事故発生時の対策に関する事項、医療紛争の処理に関する事項及び医療訴訟に関する事項の審議を行う。</p> <p>○医療安全会議（年92回） インシデントレポートの収集と管理、報告された事故の原因や状況の分析、原因分析の結果を踏まえて事故発生の防止策と事故発生後の対応策を講じ、必要な情報を現場のスタッフにフィードバックする。 また、医療事故防止に係る病院内の巡視・点検・評価に関すること、医療事故防止にかかわる業務改善の提言・指導に関すること、安全管理に係わる教育・研修・啓発に関すること、医療事故防止対策マニュアルに関すること、ヒヤリハットニュースの発行に関すること、リスクマネージャー会議に関すること。</p> <p>○リスクマネージャー会議（年5回） 医療問題対策委員会及び安全管理室会議において決定した事故防止策・対応策等の必要な情報を医療現場に周知徹底させる。</p> <p>○医療の質・倫理検討委員会（年12回） 死亡例及び重症合併症例の検討、先端医療、終末期医療、診療拒否、移植医療、その他の倫理的問題について審議する。</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
<p>・研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・安全管理について</li><li>・医療事故の防止について</li><li>・医薬品の安全使用について</li><li>・医療機器について</li><li>・健康診断について</li></ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 <input checked="" type="radio"/>有・無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ヒヤリハットニュースを発行(月1回及び必要に応じて随時)し、リスクマネージャー会議を開催(年5回)することにより、リスクマネージャーを通じて、インシデントレポートから積極的に収集した情報並びに医療問題対策委員会、医療の質・倫理検討委員会及び安全管理部会議において決定した事故防止策・対応策等の必要な情報を医療現場に周知徹底する。</li><li>・各医療現場のリスクマネージャーにより、医療事故の原因及び防止方法並びに医療体制の改善方法について独自に検討及び提言を行う。</li><li>・各医療現場のリスクマネージャーにより、独自に事故防止のための研修会及び勉強会を開き、医療事故防止のための啓蒙活動を行う。</li></ul>	

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 ( 3 名 ) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 4 名 ) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<p>・ 所属職員： 専任 ( 3 ) 名 兼任 ( 18 ) 名</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>インシデントレポートの検討や、事故防止対策の立案、現場の点検・改善への支援、専門委員会への検討や改善の申し入れ、職員及び学生への安全研修の企画や運営、「ヒヤリハットニュース」の発行、リスクマネージャーによる情報提供を主たる業務とする。</p>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無

## 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の整備状況	有・無
<p>・指針の主な内容：</p> <p>1. 院内感染対策に関する基本的な考え方  2. 委員会等の組織に関する基本的事項  3. 職員研修に関する基本方針  4. 発生状況の報告に関する基本方針  5. 感染発生対応に関する基本方針  6. 指針の閲覧に関する基本方針  7. その他の必要な基本方針</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・活動の主な内容：</p> <p>1. 院内感染の実態の把握，薬剤耐性の動向その他院内感染のための調査，研究を行う。  2. 感染症患者及び健康保菌者等の取扱い，滅菌及び消毒，清潔区域及び医療材料の清潔保持その他院内感染防止のための予防対策を行う。  3. 院内感染防止についての指針の作成及び職員の教育，指導を行う。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・研修の主な内容：</p> <p>・『標準予防策・感染経路別予防策について』  ・『多剤耐性アシネトバクターについて』  ・『多剤耐性菌感染症の治療と予防』</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>・病院職員における結核発病事例を受け、接触者調査の実施、再発防止策の検討  ・総合集中治療センターにおける多剤耐性アシネトバクター集団発生事例を受け、アウトブレイク終息に向けた各種取り組み、再発防止策の検討</p>	

(様式第6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
・研修の主な内容：  ・医薬品の安全使用のための業務に関する手順書について ・麻薬の取扱いについて	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・手順書の作成 (有)・無)  ・業務の主な内容： 1. 医薬品の採用・購入に関する事項 2. 医薬品の管理に関する事項 (麻薬等の管理方法等) 3. 患者の持参薬歴情報の収集方法、処方箋の記載方法 4. 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項 5. 医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項 6. 他施設 (病院等、薬局等) との関係に関する事項	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無)  ・その他の改善のための方策の主な内容：  【収集方法】 医薬品に係る添付文書等の収集、メーカー等から収集、インターネット、文献等からの収集 【周知方法等】 薬剤部発行の院内医薬品情報誌に掲載し周知、オンライン医薬品集に「お知らせ」として掲載し周知、薬剤部ホームページへの掲載、必要に応じて院内メール又は文書等の通知にて周知、病棟担当薬剤師がカンファレンス等にて説明し周知、職員用エレベータホールに掲示板を設置し周知 【改善方法等】 業務実施状況を確認し、必要に応じて手順書の改定を行う院内で発生した副作用を収集する体制の整備	

(様式第6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 14 回
<p>・研修の主な内容：</p> <p>①有効性・安全性に関する事項 ②機器の使用方法に関する事項 ③保守点検に関する事項 ④不具合等が発生した場合の対応 ⑤使用に関して特に法令上遵守すべき事項</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・計画の作成 (有・無)</p> <p>・保守点検の主な内容：</p> <p>臨床工学技士による点検とメーカー委託による点検の実施</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>1. 装置毎に添付文書・保守点検マニュアル及び安全性情報を冊子として配布 2. 管理、機器に関わる者に関してはWG等を設置し周知徹底を行う 3. 医薬品医療機器総合機構への病院ホームページ及びME室ホームページからのリンク 4. ME室ホームページからのマニュアル等の閲覧システム 5. 看護師と連携した医療機器中央管理委員会（年4回開催）にて周知</p>	

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	○有 ・ 無
・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期	
日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価の認定を受けている。(2005年7月認定, 2010年更新)	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	○有 ・ 無
・ 情報発信の方法、内容等の概要	
病院ホームページのほか、季刊広報誌を発行して駅、ショッピングセンターなどに置いて手にとってもらい、地域住民にむけて情報発信を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	○有 ・ 無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要	
がんセンター等で、診療科間及び職種を越えた連携によるチーム医療、集学的治療を推進している。	